

沖縄県

# 歯科医師会誌

*The Journal of the Okinawa Dental Association*

2025.January Vol 1



## Topics

- ★新春のご挨拶 (一社) 沖縄県歯科医師会 会長 米須 敦子
- ★年頭所感 公益社団法人日本歯科医師会 会長 高橋 英登
- ★沖縄県歯科医師会新年会 調査広報担当理事 平良 和枝
- ★受章おめでとうございます
- ★第41回日本障害者歯科学会総会および学術大会  
沖縄県歯科医師会専務理事 (第41回日本障害者歯科学会実行委員長) 屋嘉 智彦
- ★登院式 沖縄歯科衛生士学校 専任教員 新垣 花絵
- ★奨学金授与式 沖縄歯科衛生士学校 専任教員 稲嶺 直子
- ★就職説明会を終えて 沖縄歯科衛生士学校 運営委員 古 堅 信
- ★沖縄県歯科医学会 学術委員 眞喜志早江子



(一社) 沖縄県歯科医師会



表紙写真

「知念岬 日の出」

撮 影 者

島 袋 進

# content

・新春のご挨拶	（一社）沖縄県歯科医師会 会長 米 須 敦 子	… 3	
・年頭所感	公益社団法人日本歯科医師会 会長 高 橋 英 登	… 4	
・令和6年度 沖縄県歯科医師会新年会	調査広報担当理事 平 良 和 枝	… 5	
・受章おめでとうございます			
旭日双光章受章	高 嶺 明 彦	… 8	
瑞宝双光章受章	中 原 勉	… 9	
瑞宝双光章受章	竹 尾 孝 明	… 10	
厚生労働大臣表彰	比 嘉 良 喬	… 11	
令和6年度 文部科学大臣表彰	平 良 恵 信	… 12	
令和6年度 日本歯科医師会会長表彰	城 間 吉 弘	… 13	
・第41回 日本障害者歯科学会総会および学術大会			
沖縄県歯科医師会専務理事(第41回日本障害者歯科学会実行委員長)	屋 嘉 智 彦	… 16	
・沖縄歯科衛生士学校 令和6年度 登院式	沖縄歯科衛生士学校 専任教員 新 垣 花 絵	… 18	
・令和6年度 奨学金授与式	沖縄歯科衛生士学校 専任教員 稲 嶺 直 子	… 20	
・就職説明会を終えて	沖縄歯科衛生士学校 運営委員 古 堅 信	… 21	
● 県歯報告 ●			
・令和6年度 沖縄県歯科医学会	学術委員会委員 眞喜志 早江子	… 22	
□赤い羽根 共同募金のご寄付について（お礼）			… 31
□那覇市立石田中学校5年連続奨励賞受賞	学校歯科担当理事 玉 城 齊	… 32	
□寄 付		… 33	
● 県外報告 ●			
・第88回 全国学校歯科保健研究大会	学校歯科委員会副委員長 仲 里 耕 治	… 34	
・第74回 全国学校歯科医協議会	学校歯科委員会委員 栗 田 宅 哉	… 35	
・令和6年度 全国学校保健・安全研究大会	学校歯科委員会委員 栗 田 宅 哉	… 35	
● 県内報告 ●			
・令和6年度 歯科医療従事者技術向上支援研修会	学術委員会委員長 新 城 美由紀	… 36	
□ホームページ改訂特別委員会が発足			
	ホームページ改訂特別委員会 委員長 島 袋 亮	… 37	
□会員プロフィール 門松須賀子・市村 崇		… 42	
□新聞コラム		… 43	
□理事会報告		… 47	
□編集後記		… 52	
□8020達成者認定証の発行について		… 53	
□会員動向		… 55	
□国保だより		… 56	

## 新春のご挨拶



(一社) 沖縄県歯科医師会  
会長 **米須 敦子**

謹 啓

新春を迎え、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より本会の活動に多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、8月の九州地区連絡協議会、10月の九州歯科医学大会、12月の日本障害者歯科学会総会および学術大会など、重要な行事を無事に開催し、いずれも多くの皆様にご参加いただきました。これらが成功を収めることができましたのも、会員の皆様をはじめ、関係者の皆様のお力添えの賜物であり、深く感謝申し上げます。

本年は巳年、変革と成長の象徴とされる年です。本会では、新しい挑戦を恐れず、歯科医療の発展に向けた取り組みをさらに強化してまいります。特にデジタル技術やAIの活用を積極的に推進し、患者様一人ひとりに寄り添った質の高い医療を目指して努力してまいります。また、沖縄県が直面している歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士の不足といった課題解決に向け、県への要請や人材育成にも引き続き尽力してまいります。

これからも会員の皆様とともに歩みを進め、地域に根差した歯科医療の向上に努めてまいります。本会へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

謹 白





公益社団法人日本歯科医師会  
会長 高橋英登

## 年頭所感

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

日本歯科医師会会員および関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

会員の皆様のお力添えをいただきながら、会務を執行させていただき、約1年半が経過しました。歴代の執行部が築かれた日歯の伝統を大切にしつつ、時代の変遷に対応すべく必要のあるところは改革し、これからも皆様に引き続き評価していただけるような執行体制を構築していく所存です。

今までの執行部が蒔いてくださった歯科医療拡充の「種」が時を経て「つぼみ」になり、それらが「花」を咲かせ、「実」をつけ、収穫できるようになるまで育てていかねばなりません。

我が国の健康施策の基幹である「国民皆保険」という我が国特有の医療システムもしっかりと維持され、さらにコロナ禍も乗り越え、なんとか安定軌道を保っていた歯科界ですが、ここへ来て大きな荒波が押し寄せて来ています。

医師・薬剤師の数は従前通り増加している中、歯科医師数は過去40年で初めて減少に転じました。具体的には令和2年から令和4年の間に2,176名（約2%）減少しています。過去の一時期、歯科医師が過剰だといわれ、歯科医師国家試験の合格率の低下をはじめ、歯科医師削減の方向で舵が切られてきた結果です。

また、急速な医療DX推進に対応できないなどを理由に、長く地域医療を支えてこられた歯科医師の廃業が急増しています。民間の調査機関によると昨年1月から10月の歯科医院の倒産、休廃業、解散件数は前年比1.8倍という記録的なハイペースであり、それに伴い、歯科医療サービスが滞っている地区も徐々に増加しています。

一方、日歯会員の平均年齢は62歳3カ月となり、この状況下で国民のための歯科医療は果たして継続できるのでしょうか。このまま方策を立てることなく時が過ぎるのであれば、10年後の歯科界はさらに厳しい状況に陥っているでしょう。

今、歯科界が大きな変革期に差し掛かっていることは明白な事実です。しかし、歯科界にとって暗い話ばかりではありません。

国民や医療他職種の間で「口腔内の環境」や「摂食、嚥下機能」の保持が全身的な疾病の発症に大きく関与していることが認知されつつあり、「歯科医療」を見直す機運が過去にないほど高まっているからです。日歯が昨年実施した歯科医療に関する一般生活者意識調査でも約9割の方が「健康を維持するためにも歯や口の健康が欠かせない」と回答しています。国も諸施策の中で「国民皆歯科健診の進展」「入院患者に対する口腔健康管理の充実」や「周術期歯科医療の推進」といった今まで我々が主張していた「治療から予防」へのシフトも具現化しつつあります。

「自分の口で美味しく食べて健康長寿の達成に貢献すること」を目標に仕事をしている我々歯科医師の存在価値が見直されつつある中、会員の皆様が国民に最良の歯科治療を提供できるより良い環境となるよう、そして今年こそ、長い間厳しい状況下で耐えてきた歯科界に光明が差すよう、さらに一層努力を重ねる所存です。

これからも会員の皆様のさまざまなご意見に真摯に耳を傾け、会務を執行して参ります。さらなるご支援を賜りますことお願い申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

令和6年度

# 沖縄県歯科医師会新年会

## 沖縄県歯科医師会新年会次第

日 時：令和7年1月9日（木）午後7時

場 所：ザ・ナハテラス

司会 専務理事 屋嘉 智彦

- |    |                 |                           |         |
|----|-----------------|---------------------------|---------|
| 1  | 開会のことば          | 専務理事                      | 屋 嘉 智 彦 |
| 2  | 会長挨拶            | 会 長                       | 米 須 敦 子 |
| 3  | 役員自己紹介          |                           |         |
| 4  | 県知事表彰・歯科医師会会長表彰 |                           |         |
|    | 県知事表彰           | 林 秀 樹 津嘉山 一 安里 博          |         |
|    | 会長表彰            | 徳 嶺 千佳子 上原 修 佐久川 正明 宮城 栄之 |         |
| 5  | 令和6年受賞者功績紹介     | 常務理事                      | 眞喜屋 睦子  |
| 6  | 来賓祝辞            | 沖縄県知事                     | 玉城 デニー  |
|    |                 | 沖縄県医師会 会長                 | 田 名 毅   |
| 7  | 被表彰者代表挨拶        |                           | 高 嶺 明 彦 |
| 8  | 乾 杯             | 沖縄県薬剤師会 会長                | 前 濱 朋 子 |
| 9  | 懇談・会員三味線演奏      |                           |         |
| 10 | 新入会員紹介          |                           |         |
| 11 | 福引抽選            | 常務理事                      | 中 地 昭 雄 |
| 12 | 閉会のことば          | 副 会 長                     | 渡慶次 彰   |

令和7年1月9日（木）午後7時よりホテルザ・ナハテラスにて開催。

今年は5年ぶり、招待客を交えての開催となりました。

会員67名（役員11名含）招待客60名の計127名出席。

華やかな「かぎやで風」で幕開け。

会長挨拶では 昨年の九州歯科医学大会、全国障害者歯科学会の開催が無事に終えたことへの感謝の意を述べ コロナ禍あけ5年ぶりの招待客を迎えての新年会に喜びを伝えました。

続いて各表彰式、来賓祝辞が行なわれ 被表彰者を代表して高嶺明彦先生がご挨拶されその中での事務局小禄局長への労いのお礼の言葉がとても印象に残りました。

またご参加の衆議院議員国場幸之助氏 宮崎政久氏 島尻安伊子氏 西銘恒三郎氏それぞれの議員のみな様よりもご挨拶をいただきました。

懇談会に入りまして 恒例の会員三味線演奏、福引き抽選と会場全体で楽しく和やかな雰囲気が進められ、渡慶次副会長の閉会の辞にてお開きとなりました。

外部からの招待客を迎えての新年会は 賑わい、晴れやか、笑顔満載で手配、準備、片付けといつもながらお見事な事務局のサポートに感謝を込め、 来年またお会いできますよう、

今年もご機嫌よろしくお願い致します。

調査広報担当理事 平 良 和 枝



令和6年度

# 沖縄県歯科医師会新年会









受章おめでとうございます

# 旭日双光章受章 高嶺 明彦



この度は、はからずも令和6年秋の叙勲にあたり、旭日双光章を受章いたしました。また、早速の懇篤なる多くの祝意を賜り、併せて心より感謝と御礼を申し上げます。令和6年11月18日には、皇居へ参内し天皇陛下に拝謁を賜りました。

この栄誉は、申すまでもなく私一人の力ではなく、常日頃より支えてくださった皆様のおかげで得られたものと、深く感謝しております。顧みますと40年前に沖縄県歯科医師会に入会して以来、本当にたくさんの先生方から温かいご指導を賜りました。会員の先生方に育てていただいたおかげで、今日の私があるものと思っています。永年にわたって皆様方より頂戴いたしましたご指導ご鞭撻に、重ねて心からの御礼を申し上げます。この受章は、まさに沖縄県歯科医師会と共に、いただいたものであるとの想いを強くしています。

今後とも、この栄誉に恥じぬよう、さらなる努力を重ね、微力ではありますが、地域社会や歯科保健・医療に貢献できるよう努めてまいります。何卒変わらぬご厚情を仰ぎたく、よろしくお願い申し上げます。





受章おめでとうございます

# 瑞宝双光章受章

## 中原 勉



学校歯科医を長年勤めそのご褒美に瑞宝双光章という名誉ある勲章を頂きました。

僭越ながら後に続く後輩歯科医師達の励みになればとの思いで受章致しました。思えば若輩ながら地域に根ざした歯科医院を目指して開業し、当初より普天間小学校、幼稚園の学校歯科医を勤めさせて頂きました。

42年間地域の子どもの歯の健康に携えた事に感謝いたします。

毎年虫歯の日に合わせた歯ブラシ指導や学校保健委員会との会議等がありました。お役に立てたのであれば光栄です。

現在は歯科医院を閉院しフリーの身となりましたがこれまでの経験を活かし小児保健協会の健診をやらせて頂いています。

形は違えど歯科医業への貢献ができているのかなと自負しています。

歯科医師会のたくさんの会員の皆様からお祝いの言葉を頂き受章の実感が湧いて来ました。

感謝致します。

まだまだ人生は続きますが、これからは健康で大好きなゴルフを楽しみたいと思います。

微力ながら歯科医師会への貢献も忘れずに。

ありがとうございました。

受章おめでとうございます

# 瑞宝双光章受章

## 竹尾 孝明



このたび令和6年秋の叙勲を拝受致しましたこと心より感謝申し上げます。  
40年前になりますが、県歯科医師会に入会の際、大学同窓の先輩、県歯の先輩  
先生に大変お世話になり入会することができました。

そのことが今回の叙勲につながっていると思い感謝しかございません。

会員の先生方、小禄局長はじめ事務局の皆様関係者の皆様に心より感謝申し  
上げます。

今後も微力ながら歯科界の発展のため寄与していきたいと思っています。  
ありがとうございました。



受賞おめでとうございます

# 厚生労働大臣表彰

比嘉 良喬



(一社)沖縄県歯科医師会からの推薦を頂き、昨年第44回全国歯科保健大会IN秋田では日本歯科医師会会長表彰に引き続き、今大会においては厚生労働大臣表彰を頂くことができ、書面をお借りして推薦を頂いた米須敦子会長を始め役員の皆様には感謝申し上げます。今大会では日本歯科医師会会長賞受賞者47名・厚生労働大臣表彰受賞者は55名が表彰を受けました。表彰状の代表者は佐賀県歯科医師会の田中俊夫先生が授与し、謝辞は熊本県歯科医師会の松本信久先生が挨拶をされました。

表彰者は開会前に舞台へ案内され、着席した状態で開会まで待機。高校生による全国トップクラスのダンスパフォーマンスの開会式前のアトラクションが有りましたが、100名近くの表彰者の、出入りを考えると運営上仕方がない事でしょうが、アトラクションを緞帳の内側での待機ですので全く見る事が出来ず、流れる音声だけでしたので残念でした。そういえば私が会長時代も同じような運営状態だったと今更ながら受賞者への配慮が無かった事を反省しました。そして日本歯科医師会会長表彰の城間吉弘先生の代理受賞者として、米須敦子会長も参列していただき、会場で新旧会長のツーショットを撮影する事が出来ました。

1997年42歳で喜屋武満会長時代に理事として沖縄県歯科医師会に携わり、2017年63歳の会長退任まで17年間（20年の内3年間は無役）に対する御褒美だと思っています。

受賞おめでとうございます

令和6年度 文部科学大臣表彰  
平良 恵信



この度は、文部科学大臣表彰を受賞いたしました事を心より深く感謝いたします。

昭和59年西原町で開業、西原南小学校の開学と同時に初代学校歯科校医として生徒の口腔衛生の向上に努めてまいりました。早いもので40年が経ちましたが、その後西原東中学校、坂田保育園の歯科校医も兼務してきました。歯科医師会に入会時に先輩方から、診療だけでなく、地域社会に貢献することも歯科医師としての使命であるから歯科校医や自治体の歯科検診にも頑張らなさいと言われたのが思い出されます。

これからも今回の受賞を励みとして、今後も学校歯科校医として頑張っていきたいと思っております。



受賞おめでとうございます

令和6年度日本歯科医師会会長表彰  
城間 吉弘



この度、日本歯科医師会会長表彰を受賞いたしました。令和6年11月2日に第45回全国歯科保健大会が熊本県にて行われましたが、私は母の介護で現地受賞式に参加できず、米須敦子県歯会長に表彰状を受け取ってもらいました。

有難うございます。

振り返ってみますと開業して40年、受賞の趣旨である多年に渡り歯科保健事業に携わり、地域における公衆衛生の向上のために著しい功績のあった個人に私が該当するのかもしれないと思いましたが、医療管理委員会で医療相談・苦情処理を担当してきたことを推薦して下さったと思います。

医療管理委員を任命された当時は高嶺明彦先生、そして高江洲實先生、高良政憲先生の各理事の下、また私自身が理事として相談・苦情の処理に携われたことは微力ながら歯科医師会に貢献できたのではと思います。

その後、医療管理委員会は渡慶次彰理事、長嶺義一郎理事と続き、現在は理事の邊士名朝憲先生、委員長の高嶺義一郎先生が精力的に対応されていることを会員の先生方に知って欲しいと思います。どうも有難うございました。



# 受賞おめでとうございます

**沖縄県母子保健大会県知事表彰**  
(母子歯科保健功労)  
令和6年1月18日(木)



**山城 ひとみ**  
南部地区会員

**沖縄県母子保健大会会長表彰**  
(母子歯科保健功労)  
令和6年1月18日(木)



**徳嶺 千佳子**  
中部地区会員

**沖縄県学校保健功労**  
(学校保健功労)  
令和6年2月9日(金)



**塩浜 康良**  
南部地区会員

**沖縄県学校保健功労**  
(学校保健功労)  
令和6年2月9日(金)



**松原 正明**  
宮古地区会員

**沖縄県学校保健功労**  
(学校保健功労)  
令和6年2月9日(金)



**大城 智**  
宮古地区会員

**令和5年度日本歯科医師会会員有功章**  
(地域歯科医療の向上に貢献)  
令和6年3月15日(金)



**玉木 史朗**  
南部地区会員

**日本学校歯科医会会長表彰**  
(学校歯科保健功労)  
令和6年3月19日(火)



**上原 修**  
南部地区会員

**日本学校歯科医会会長表彰**  
(学校歯科保健功労)  
令和6年3月19日(火)



**上江田 武**  
八重山地区会員

**日本学校歯科医会会長表彰**  
(学校歯科保健功労)  
令和6年3月19日(火)



**宮良 修**  
南部地区会員

# 受賞おめでとうございます

**那覇市政功労者表彰**  
(地域医療貢献)  
令和6年5月20日(月)



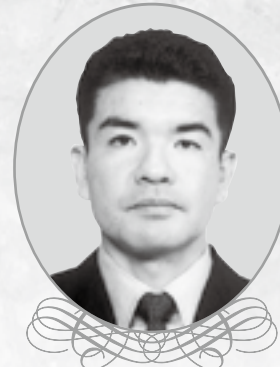
宮里 修  
南部地区会員

**第53回自由民主党沖縄県支部連  
合会大会協力者表彰**  
令和6年8月31日(土)



渡慶次 彰  
中部地区会員

**沖縄市教育委員会表彰**  
(学校保健功労)  
令和6年11月13日(水)



崎原 幹雄  
中部地区会員

表  
彰

**第52回医療功労賞**  
(九州厚生局長賞・厚生労働大臣賞)  
令和6年1月31日(水)・令和6年3月15日(金)



小 緑 克 子

長崎睦子様  
(30年以上勤務)【ともよせ歯科医院】



歯科医療従事者永年勤続表彰



第41回

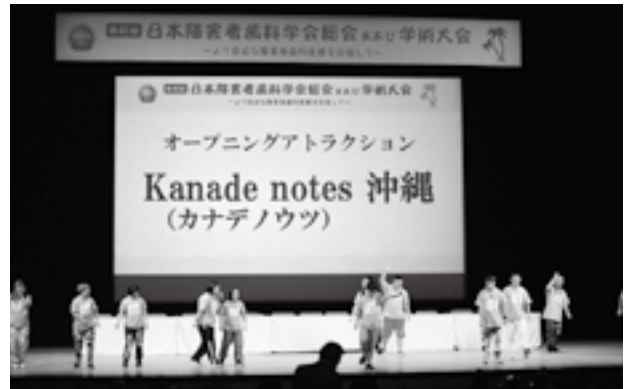
# 日本障害者歯科学会総会および学術大会

沖縄県歯科医師会専務理事（第41回日本障害者歯科学会実行委員長） 屋 嘉 智 彦

令和6年12月13日（金）～15日（日）の3日間に渡り、本会主管で沖縄コンベンションセンターにて第41回日本障害者歯科学会総会および学術大会を開催した。大会テーマ〈より身近な障害者歯科医療を目指して〉の元、本会および学会企画の多彩なプログラムが開催された。本会からは泉川良範先生による特別講演、小笠原正、石井里佳子先生による教育講演、シンポジウムは「地域で医療的ケア児をどう支えるか」「チャンプルー文化の地域包括ケアシステム」米須会長による大会長講演「当県口腔保健医療センターの歩み－障害者歯科医療の現状と未来－」など沖縄色を出したものとした。県民公開講座は、より多くの会員以外の方に聴講してもらえるよう、元



NHKアナウンサー武田真一様、漫画家の森山和泉様を演者としてお招きした。最終的な大会参加者数は2,024名であった。



大会初日の夜にはホテルコレクティブにて懇親会を開催し、247名といった想定数を超える方々にご参加いただいた。アトラクションとして沖縄伝統芸能やなまぐる解体ショーなどを交え、盛況のうちに幕を閉じた。

企画に際して、多くの方々（今まで地域協力医研修会でお世話になった先生方、沖縄の大会の為なら

と快く協力に快諾して頂いた演者の先生方など）に御協力ご助言して頂いたのは、今までの本会における障害者歯科に関する活動の賜物だと痛感した。

実行委員長として、企業展示・周知活動やスタッフ配置など、もう少し配慮・工夫すべき点があったのではないかと反省しきりではあるが、このような全国大会に本会が一丸となって取り組んだことは、非常に貴重な体験であったと痛感する。

最後に、小禄局長をはじめ本会の職員の方々、各委員会委員の先生方、衛生士学校の学生の皆さん、中部保健所の与那嶺亮先生、アカネクリエーション・新舞台・JTBの各社に感謝申し上げます。

生活 日大・水・本・主編 掲載 TEL:098(865)5158 seikatu@ryukyushimpo.co.jp

## 理解し社会変える行動を

### 障害者歯科学会が公開講座

【本報記者 屋嘉智彦】「日本障害者歯科学会」が12月13日（金）から15日（日）まで、沖縄コンベンションセンターで開催された第41回総会および学術大会の模様を取材した。大会のメインイベントとして、14日（土）に「公開講座」が開催された。この日は、元NHKアナウンサーの武田真一氏と漫画家の森山和泉氏が登壇し、約200名が参加した。武田氏は「命に直結する課題 多様性を楽しんで」と題して講演し、森山氏は「理解し社会変える行動を」と題して講演した。両氏は、障害者に対する理解を深め、社会を変えていくための行動を呼びかけた。武田氏は、自身の経験から、障害者に対する偏見を打破し、多様な人材を活躍の場とする重要性を述べた。森山氏は、自身の漫画作品を通じて、障害者に対する理解を深め、社会を変えていくための行動を呼びかけた。両氏は、会場を盛り上げ、参加者から大きな反響を呼んだ。

武田真一さん  
命に直結する課題  
多様性を楽しんで

森山和泉さん  
理解し社会変える行動を



報告事項



●●●●● 沖縄歯科衛生士学校 ●●●●●

令和6年度

# 登院式

11月21日（木）、本校36期2年生の登院式が行われました。今まで座学と学内実習を中心に学んできた学生たちが、本格的な臨床実習に臨む前に、歯科衛生士としての責任の重さや職業倫理を自覚する式典です。

保護者や1年生に見守られる中、照明を落とし、点燭台の光に照らされた表情は、これから歩む道と真摯に向き合っているようでした。クラス全員で声を揃え歯科衛生士誓詞を朗唱し、厳かな雰囲気では進みました。

学生たちの多くは臨床の現場を経験することはほぼ初めてで、不安と緊張を抱えつつ実習に臨むこととなります。実際の現場では戸惑いつつも、これを経験することによって大きな成長に繋がると思っております。

沖縄歯科衛生士学校 専任教員 新垣 花 絵

実習を受け入れて頂いた施設の先生方、スタッフの皆様、お手数をおかけしますが、学生自身の学び・成長への温かいサポートをよろしくお願い致します。

人手不足が深刻になりつつある昨今、一人でも多くの学生が国家資格を取得し、歯科衛生士として輩出できるよう、引き続き専任教員一同指導して参ります。







登院生入場



開式のことば 中地副校長



校長式辞 米須校長



閉式のことば 渡慶次副校長



点 燭

報告事項

# 令和6年度 奨学金授与式

沖縄歯科衛生士学校 専任教員 稲嶺 直子

令和6年12月12日、本校の褒賞規定により奨学金授与式が行われました。

表彰基準は「校長は、成績優秀にして他の模範となる者を褒賞することができる」となっており、今年度も会議の中で基準に該当する対象者を各学年から2名ずつ決定し、合計6人の学生に授与されました。授与式本番まで情報が伏せられているため学生たちもワクワク・ドキドキです。氏名が読み上げられると、自分が該当するとは！と驚きの表情をするもの、照れの表情をするもの、頑張ってきたという自負を持ち合わせたものなど様々でした。全学生から拍手を受け、クラスメイトからは「おめでとう」の声も受けつつ舞台に登壇、校長先生から賞状と奨学金を授与される際には満面の笑みへと変化していました。

米須校長先生からは日々の生活態度・努力が社会

- 1年生 : 1位 當 眞 百梨亜
- 2年生 : 1位 神 谷 恵 麻
- 3年生 : 1位 仲 村 果 穂



人としてのマナー・国家試験へと繋がるとの訓示がありました。

今回受賞した学生は、まさに、日々の努力が評価された形となります。学年内の席次が拮抗しており、「次年度はぜひ私が！」とモチベーションがUPした学生もいます。

受賞者を代表して3年生からのあいさつでは、周囲への感謝、クラス一丸となって国家試験に向けて頑張ること、そして後輩に対しては「今」を大切に臨床実習・専門科目へ挑むことの大切さを伝えてくれました。

なお受賞者は以下のとおりです。

- 2位 平 良 綾 華
- 2位 松 本 成 美
- 2位 稲 福 紗 也



# 就職説明会を終えて

次年度からの変更、ならびに新たな取り組みについて

歯科衛生士学校の学生を対象とした就職説明会が11月に催された。

今年は在学生在が定員割れをしているため35人の参加者で例年より少ない人数であった。

参加した学生にアンケートを実施した結果、説明時間が短いという意見が多く、また、参加医院が少ないという意見もあった。

しかし、参加した医院に対して、学生が興味も持たず、ブースを尋ねることが極端に少ないところも少なからずあった。

多くの医院をまわると、1医院あたりの説明時間が短くなり、説明時間を長くすると説明を受ける医院の数が限られる結果となる。そのため学生、参加医院の双方に不満が生じるため、求人マッチングの方法について考え直す必要があると思われた。

そこで学校運営委員会では、学生の就職の動向を精査し、就職説明会のあり方について話し合われた。

その結果、次年度から求人への対策を変更・改善することになった。

## 1. 就職説明会を8月に開催する

これは、以前から学生の希望があり、臨床実習が終わる11月からは国家試験対策に時間を取りたい学生と教員の考えもある。

また、夏休みに比較的自由な時間が取れるので、求人を行う医院への積極的な訪問・見学が実施できる、そのことで医院に対する理解が、より深まると考えられる。

## 2. 学生の求人を7月から開始する

1にあわせるためであり、早めの学生と医院の接触を行うことで、より見学の機会を増やせると考えた。

以上は新卒の学生への求人に対する取り組みの変更になる。説明会のあり方については今後の検討課題とする。

## 3. 求人票の新規卒業生以外への年間開示

学校には年に数人ではあるが、既卒者から就職の相談がある。

会員診療所の求人がハローワークや求人誌に掲載されていても、相談者には会員、非会員の区別はつかず、また教員はどの会員が求人を行っているかを知る術はない。せっかく頼ってきた教え子に対し、当たり障りのないアドバイスしか出来ないのが現状

沖縄歯科衛生士学校 運営委員 古 堅 信

である。そこで、年間を通して既卒生、現役生に対して医院の求人票を開示することにした。学校で求人内容を吟味できることで既卒生には安心感があると思われる。

以前、既卒者が求人票の確認で来校し、開示したところ就職条件の異なる箇所があったため医院と既卒者の間で少々もめた経緯があり、それ以降既卒者には一切求人票の開示は行なっていなかった。

しかし、せっかく求人の問い合わせがあるのなら、開示を希望する医院があればそうしてもよいのではないか、という意見が運営委員会で上がり、希望医院のみを対象に求人票の開示を行うことにした。

以上が学校での求人への対策として新たな取り組みである。一朝一夕に結果は出てこないが、変えられるところは積極的に改善に取り組んでいきたいと考えている。

以前、会員通知に添付した「厚生労働大臣指定 専門実践教育訓練給付金制度」について、その活用の実例を紹介したい。他県であるが、自院に務める歯科助手に対し、「厚生労働大臣指定 専門実践教育訓練給付金制度」を活用し歯科衛生士学校への入学を勧め、入学後はそこでアルバイトとして勤務を継続してもらい、卒業後歯科衛生士として採用した。という活用事例がちらほら聞かれる。歯科助手の募集もなかなか大変であり、「せっかく採用したのに」という意見もあると思うが、こういった制度の活用で積極的に歯科衛生士の採用を行う医院もある。

せっかくの制度なので活用することも考えてよいかと思う。

全国的に歯科衛生士不足であり、採用が非常に難しいことは、本県でもほぼ全医院の悩みである。学校としては、奨学金制度（来年度の卒業生が初年度に該当）を確立し、既卒者の窓口として活用できるようにすることで、より多くの会員に採用ができるよう取り組んでいきたいと考えている。

奨学金制度は以前行ったアンケートの中にあった「独自の奨学金とかできないか？」という意見から取り組まれたこともあるので、意見・アイデア等ありましたら学校運営委員会までお願いしたい。





・県歯報告・

## 令和6年度 沖縄県歯科医学会

日時：令和6年11月3日（日）10時30分～16時

場所：沖縄県歯科医師会館

学術委員会委員 眞喜志 早江子

### 次 第

開会の辞（10：30） 大会長 米須 敦子

口演発表1（10：35～11：15）

特別講演1（11：20～12：30）

演 題『能登半島地震における災害支援活動について』

那覇市保健所健康増進課

口腔保健支援センター 嘉手納一彦

感謝状贈呈（12：35～12：40）

昼 食（12：40～13：40）

企業紹介 ウェルネオシュガー（5分）

アーリークロス（10分）

委員会紹介活動報告

【センター運営委員会・地域保健委員会・学校運営委員会・学校歯科委員会・医療管理委員会・保険委員会・学術委員会・広報委員会】

ポスター発表（13：40～13：55）

特別講演2（13：55～14：35）

演 題『災害犠牲者の身元確認のための歯牙鑑定』

沖縄県歯科医師会

学術委員会委員 崎原 盛貴

感謝状贈呈（14：40～14：45）

厚生活動紹介（14：45～15：20）

【テニス・囲碁・釣り・ボーリング・ゴルフ・剣道】

口演発表2（15：20～16：00）

閉会の辞 沖縄県歯科医師会副会長 渡慶次 彰

第38回歯科医学会が5年ぶりに、対面開催されました。参加者は62名、口演発表8題、ポスター発表3題、特別講演2題に加え沖縄県歯科医師会の各委員会や部活動について、活動内容の報告や紹介を挟みました。講堂前スペースには『ウェルネオシュガー』『アーリークロス』『ギコウ』『バイオガイア』4社の展示ブースを設置、ランチタイムは『ウェルネオ

シュガー』『アーリークロス』による2つのランチオンセミナーが提供され、盛沢山となりました。

災害歯科保健医療に関する2つの特別講演は、最新情報のアップデートと、災害大国日本において災害は来るものとして備える事の必要と自分にできることは何かを考えさせられ、被災時の口腔ケアの重要性、入れ歯の大切さ、お口のフレイル予防の体操等を日頃から患者さんに伝える事や、待合室のポスター掲示、災害時に役立つ口腔ケア商品の商品展示等、自分にもすぐにできることが沢山あることを教えられた貴重なお話でした。

歯科医学会の対面開催はWEB開催の倍の労力を要するため、WEBにすっかり慣れてしまった昨今、慌てて準備し漕ぎつけたものでしたが、事務局始め、演者の皆様、委員会理事及び各部の先生方のご協力のもと、全日程を、無事に終了することが出来ましたことに感謝致します。有難うございました。

歯科医師会委員会や部活動の活動内容の紹介が、コロナ前の会員同士の交流や親睦の復活、そして若い先生方の関心が高まり、会の充実、発展、成長に繋がることを期待致します。

尚、学術委員の若手先生が、学会の全容を動画形式でサマライズしてくれました。

次期開催の即戦力となるツールに、学術委員会の進歩を感じています。



## 第38回

## 沖縄県歯科医学会プログラム

令和6年11月3日

司会 沖縄県歯科医師会学術委員会  
委員 眞喜志 早江子

開会 10:30

開会の辞 大会長 米須 敦子

## 口演発表1 (10:35~11:15)

1 演題10分 (発表8分、質疑応答2分)

- 0-1) 当科における下顎埋伏智歯に対する coronectomyの臨床統計的検討  
○吉田 誠  
医療法人八重瀬会同仁病院 歯科口腔外科
- 0-2) 当科における全身的偶発症に対する検討  
○松堂香織<sup>1,2)</sup> 宮平生衣<sup>1,2)</sup> 大嶺彩乃<sup>1,2)</sup>  
砂川真好<sup>1,2)</sup> 玉城有希<sup>1)</sup> 圓谷智之<sup>1)</sup>  
吉田誠<sup>1)</sup>  
医療法人八重瀬会同仁病院  
1) 歯科口腔外科 2) 歯科衛生士室
- 0-3) 重度歯周病に対し細菌検査後抗菌療法を行った症例  
○仲若三男 宮城誉史香 東江美樹  
医療法人なかわか くくる歯科医院
- 0-4) 当院におけるIOSを中心としたデジタルを活用した歯科治療について  
○平識善大  
中部地区 なかわか歯科医院
- 3) ナースアシスタント

## 特別講演 1 (11:20~12:30 質疑応答10分含む)

演 題『能登半島地震における災害支援活動について』

那覇市保健所 健康増進課 口腔保健支援センター 嘉手納一彦

## 感謝状贈呈 (12:35~12:40)

## 昼 食 (12:40~13:40)

企業紹介 ウェルネオシュガー (5分)  
アーリークロス (10分)

委員会紹介 (4分×10)

## ポスター発表 (13:40~13:55)

1演題5分 (発表3分 質疑応答2分)

- P-1) 同仁病院歯科口腔外科スタッフの接遇に関するアンケート調査について  
○宮平生衣<sup>1,2)</sup> 大嶺彩乃<sup>1,2)</sup> 砂川真好<sup>1,2)</sup>  
玉城麻留巳<sup>1,3)</sup> 松堂香織<sup>1,2)</sup> 圓谷智之<sup>1)</sup>  
吉田誠<sup>1)</sup>  
医療法人八重瀬会同仁病院
- P-2) 歯科治療中に生じた縦郭に及ぶ皮下気腫の1例  
○又吉亮<sup>1)</sup> 後藤新平<sup>1)</sup> 島田姿彩<sup>1)</sup>
- 1) 歯科口腔外科 2) 歯科衛生士室  
3) ナースアシスタント



- 慶田友里恵<sup>1)</sup> 照屋大貴<sup>2)</sup> 仲宗根敏幸<sup>2)</sup>  
1) 医療法人徳洲会南部徳洲会病院 歯科  
口腔外科  
2) 医療法人徳洲会中部徳洲会病院 歯科  
口腔外科

- P-3) その症状、口腔乾燥症？口腔カンジダ  
症？低垂鉛血症？それとも？  
○澤田南海子 仲西奈穂 新谷晃代  
おもと会大浜第一病院 歯科・口腔外科

---

**特別講演 2** (13:55~14:35)

演 題『災害犠牲者の身元確認のための歯牙鑑定』  
沖縄県歯科医師会 学術委員会 委員 崎原盛貴

**感謝状贈呈** (14:40~14:45)

**部活動紹介** (14:45~15:20) 4分×8部

---

**口演発表2** (15:20~16:00)

**1演題10分 (発表8分 質疑応答2分)**

**0-5) 沖縄県の顎変形症治療  
ー沖縄矯正歯科医会の発展と現状ー**

- 天願俊泉<sup>1)</sup> 山内昌浩<sup>2)</sup> 桃原均<sup>3)</sup>  
崎原盛貴<sup>4)</sup> 上運天修<sup>5)</sup> 塚谷沙織<sup>6)</sup>  
友寄裕子<sup>7)</sup> 門松須賀子<sup>8)</sup> 下地史麻<sup>9)</sup>  
比嘉努<sup>1)</sup> 新垣敬一<sup>10)</sup> 石田有宏<sup>11)</sup>  
1) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 歯科口腔外科  
2) 山内矯正歯科クリニック  
3) ももはら矯正歯科クリニック  
4) ユニバーサル矯正歯科クリニック  
5) 上運天歯科矯正歯科  
6) 渡口矯正歯科医院  
7) ともよせ歯科医院  
8) じのん矯正歯科クリニック  
9) オキナワデンタルオフィス  
10) 沖縄県立中部病院 歯科口腔外科  
11) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 形成外科

**0-7) 歯科矯正用アンカースクリューを併用してcamouflage矯正治療を行った下顎後退を伴う骨格性開咬症例**

- 山内昌浩<sup>1)</sup> 仲若三男<sup>2)</sup>  
1) 中部地区 医療法人 山内矯正歯科クリニック  
2) 南部地区 医療法人なかわか くくる 歯科医院

**0-8) 外科的矯正治療で gummy smile を伴う顔貌が改善した2例**

- 山内昌浩<sup>1)</sup> 石田有宏<sup>2,4)</sup> 比嘉努<sup>3,4)</sup>  
天願俊泉<sup>3,4)</sup>  
1) 中部地区 医療法人 山内矯正歯科クリニック  
2) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 形成外科  
3) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 歯科口腔外科  
4) 沖縄県立病院頭蓋顎顔面センター

**0-6) シン・妙な矯正ー顎関節症を伴う二症例ー**

- 新垣善章  
中部地区 あらかき歯科クリニック

---

**閉会の辞** 沖縄県歯科医師会副会長 **渡慶次 彰**

## 抄 録

## 口演発表

## O-1) 当科における下顎埋伏智歯に対する coronectomy の臨床統計的検討

○吉田 誠 医療法人八重瀬会同仁病院 歯科口腔外科

## 【目的】

下顎埋伏智歯抜歯の合併症の一つであるオトガイ神経知覚異常や、抜歯の侵襲度合によって患者に強い身体的・精神的負担増大の懸念は大きい。それらの負担緩和の目的に、coronectomy（歯冠除去術）を準用した方法を導入したので報告する。

## 【方法】

2019～2023年の5年間、画像診査にて歯根と下歯槽管の接触や、過度の侵襲が予想される症例に対し、術前にI.C.を行ったうえで本法を実施し、検討を加えた。

当科では術後経過観察で残留歯根に移動がみられたものはReExtraction（残根除去、以下ReExt.）適応とし、移動なく創部に化骨が認められたものはSleepingとした。

## 【結果と考察】

下顎埋伏智歯抜歯3474件中、本法31件の平均年齢

は42.4歳、全体の平均27.7歳を大きく上回った。

ReExt.は4件あったが、感染などの合併症により処置に至った症例は皆無。ReExt.症例の平均年齢は33歳、本法例の中では若年層に傾斜し、ReExt.時の所用時間は平均9.3分、初回の平均35分より大きく短縮した。

また当科における埋伏智歯抜歯件数著増や複雑化に伴い、術後オトガイ神経知覚異常発症に増加傾向を示したが、本法導入により抑制が伺え今後の推移に期待したい。

## 【結論】

本法によりオトガイ神経知覚異常発症の抑制や施術時間短縮・侵襲低減など、その有用性が期待でき、さらに積極的に計画的coronectomyを増やすことで患者の負担緩和に努めたい。

## O-2) 当科における全身的偶発症に対する検討

○松堂香織<sup>1,2)</sup> 宮平生衣<sup>1,2)</sup> 大嶺彩乃<sup>1,2)</sup> 砂川真好<sup>1,2)</sup> 玉城有希<sup>1,3)</sup> 圓谷智之<sup>1)</sup> 吉田誠<sup>1)</sup>

医療法人八重瀬会同仁病院 1) 歯科口腔外科 2) 歯科衛生士室

## 【目的】

当科で起きた全身的偶発症の種類や状態について検討することにより予防策を講じる。

## 【方法】

2012年から2024年3月までに当科を受診した患者の中で、気分不良や気分不快があった49件を対象に状況を検討した。

## 【結果】

当科における全身的偶発症の多くは血管迷走神経反射（84%）であった。

血管迷走神経反射の特徴としてはバイタルダウンで、発症時の徐脈率（61%）、低血圧率（81%）がみられた。

それを契機に全症例に対する「術前の血圧測定」を徹底（それまでは既往のある患者などに限定）注視したところ、発症者は激減した。

## 【結論】

血圧の低い患者に対する声掛けや見守りを強化することにより、患者の不安感などを払拭し、未然に発症を防げた可能性が示唆される。



### 0-3) 重度歯周病に対し細菌検査後抗菌療法を行った症例

○仲若三男 宮城誉史香 東江美樹 医療法人なかわか くくる歯科医院

#### 【症例】

初診時年齢51歳女性、19歳2か月女性。主訴：歯がぐらぐらする。診断：歯周病分類ステージⅣ、グレードCの重度歯周病。喫煙歴なし、基礎疾患なし。2018年以降歯科受診無し。2024年1月22日の初診日よりスケーリング治療を開始した。スケーリング後の歯周精密検査において通法のSRPだけでは反応が悪いと予測したため機械的清掃に加えて歯周病原菌に対する抗菌薬治療を計画した。ターゲットとなる歯周病原菌の特定のため細菌検査（外部委託）を行った。細菌検査の結果、基準値よりも高い値で歯周病原菌が示されたため2種類の抗菌薬を投与し、同時にSRP処置を行った。

#### 【治療結果】

歯周外科での対応を行わなくても、抗菌薬を投与すると同時にSRPを行った結果歯周組織の顕著な改善がみられた。

#### 【考察・結論】

歯周病治療は歯科医師と衛生士が互いに協力して行う必要がある。今回の症例は正しい診断のもとに歯科衛生士の適切なSRP処置が功を奏したと思われる。

### 0-4) 当院におけるIOSを中心としたデジタルを活用した歯科治療について

○平識善大 中部地区 なかわか歯科医院

近年医療界のデジタル化の進展は目覚ましく、医科においては「ダヴィンチ」のような手術支援システムの保険適用の範囲が広がっている。低侵襲を実現したこの技術は、従来の手術と比較し出血量が少ないなど、患者のメリットは大きいといわれている。

一方、歯科医療では、本年6月の診療報酬改定で、CAD/CAMインレー作製にあたり、IOS（口腔内スキャナー）の保険適用が認められた。

当院においてもIOS、CAD/CAM、3Dプリンター

などのデジタルツールを利用した診療をすすめている。今回の発表では、日常臨床でのIOSの活用例、歯科技工士との連携、デジタルインプラントにおけるサージカルガイドの有効性について報告する。

デジタル技術の発展は、歯科医療の質を向上させ、各種コスト削減にも寄与する必要不可欠なものといえる。さらに、歯科技工士不足が叫ばれる中、デジタル化の推進は、歯科技工士の就業環境の改善や人手不足対策に貢献し得る可能性が高いと考える。

### 0-5) 沖縄県の顎変形症治療－沖縄矯正歯科医会の発展と現状－

○天願俊泉<sup>1)</sup> 山内昌浩<sup>2)</sup> 桃原均<sup>3)</sup> 崎原盛貴<sup>4)</sup> 上運天修<sup>5)</sup> 塚谷沙織<sup>6)</sup> 友寄裕子<sup>7)</sup> 門松須賀子<sup>8)</sup>

下地史麻<sup>9)</sup> 比嘉努<sup>1)</sup> 新垣敬一<sup>10)</sup> 石田有宏<sup>11)</sup>

- 1) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター歯科口腔外科
- 2) 山内矯正歯科クリニック
- 3) ももはら矯正歯科クリニック
- 4) ユニバーサル矯正歯科クリニック
- 5) 上運天歯科矯正歯科
- 6) 渡口矯正歯科医院
- 7) とよせ歯科医院
- 8) じのん矯正歯科クリニック
- 9) オキナワデンタルオフィス
- 10) 沖縄県立中部病院歯科口腔外科
- 11) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター形成外科

#### 【目的】

顎変形症は、矯正歯科と顎外科の共同治療で有り保険適応として認められているが、両科にまたがる

という治療上の特殊性も有り、沖縄県では半ば置き去りにされ掛かっていた。今回は、その現状について述べて行きたい。

**【材料と方法】**

自費診療を旨とする矯正歯科医の中で、保険適応疾患としての本疾患について顎外科との共同治療の了解が得られた先生方と私的勉強会である沖縄矯正歯科医会を立ち上げたので、その発展について述べたい。

**【結果と考察】**

当会が連携していた顎外科は、発足初期では咬合を中心とした琉球大学病院歯科口腔外科であった。

現在は、顔貌の変化も考慮に入れた顎顔面口腔外科として協働している沖縄県立病院群歯科口腔外科および沖縄県立病院形成外科との協力体制について触れたい。

**【結論】**

日本顎変形症学会が認定医制度を視野に入れながら、両科とも安定した治療技術を育成し続け県民の期待に応えて行きたい。

**O-6) シン・妙な矯正 – 顎関節症状を伴う2症例 –**

○新垣善章 中部地区 あらかき歯科クリニック

**【事前抄録】**

非復位性関節円板前方転位を伴う症例と復位性関節円板前方転位を伴う症例の矯正治療を行ったので報告する

**【症例1】**

非復位性関節円板前方転位を伴うアングルⅢ級症例  
治療方針

上下左右第三大臼歯抜歯

下顎臼歯のuprightを行い、咬合高径を高くする  
狭窄している上顎歯列弓の拡大により叢生および被蓋の改善をはかる

**【症例2】**

復位性関節円板前方転位を伴うアングルⅡ級2類症例

**【治療方針】**

左下第三大臼歯抜歯

下顎頭運動記録（コンダイログラフ）により治療目標の下顎位を設定する

上顎大臼歯部を提出させて臼歯部の咬合平面をフラットにして下顎を前方に適応させる

下顎左側側切歯が先天性欠損のためスペースを作り正中を合わせる

**【まとめ】**

2症例ともディスクレパンシーを解消する目的で第三大臼歯の抜歯を行った

顎関節に問題のある症例を矯正治療する場合、咬合支持を低下させ下顎頭に負荷を増加させる可能性のある中間歯抜歯は行わない

咬合高径を上げ下顎頭に加わる負荷を軽減させて治療目標下顎位に咬合再構成する

**O-7) 歯科矯正用アンカースクリューを併用してcamouflage矯正治療を行った下顎後退を伴う骨格性開咬症例**

○山内昌浩<sup>1)</sup> 仲若三男<sup>2)</sup>

1) 中部地区 医療法人 山内矯正歯科クリニック

2) 南部地区 医療法人なかわか くくる歯科医院

**【症例】**

初診時年齢19歳2か月、女性。主訴：前歯が噛み合わない、下顎右方偏位、顔が長い。診断：顎関節クリック、下顎右方偏位、舌癖、右側第二大臼歯間鉸状咬合、叢生、下顎後退を伴う骨格性開咬。外科的矯正治療が望ましいが、患者は camouflage 矯正治療を希望した。治療方針・経過：上下顎左右側

第三大臼歯抜歯後、上顎正中口蓋縫合と下顎頬側棚に歯科矯正用アンカースクリューを植立し、上顎 quad-helix appliance、下顎 bi-helix appliance、上下顎左右側第一・第二大臼歯の sectional arch で上下顎側方歯拡大と右側第二大臼歯間鉸状咬合を改善しながら上下顎左右側大臼歯を圧下して下顎の反時計方向回転、上顎大臼歯遠心移動を図った。その



後、上下顎犬歯間と小・大臼歯間を分割してマルチブラケット装置に移行して上顎左右側小臼歯の圧下も図ったところ反対咬合になり上下顎 continuous arch に移行した。さらに、下顎左右側第一小臼歯を抜歯して咬合を確立、現在保定1年9か月で咬合は維持されている。

#### 【治療成績】

下顔面高の十分な改善は得られなかったがprofile

咬合は改善した。

#### 【考察、結論】

わずかな下顎の反時計方向回転と前歯部開咬の改善に伴い自然に舌癖が改善して保定中も咬合が維持されている。

## 0-8) 外科的矯正治療で gummy smile を伴う顔貌が改善した2例

○山内昌浩<sup>1)</sup>、石田有宏<sup>2,4)</sup>、比嘉 努<sup>3,4)</sup>、天願俊泉<sup>3,4)</sup>

- 1) 中部地区 医療法人 山内矯正歯科クリニック
- 2) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 形成外科
- 3) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 歯科口腔外科
- 4) 沖縄県立病院頭蓋顎顔面センター

#### 【症例1】

初診時年齢29歳6か月、女性。主訴：歯が出ている、歯茎が見える。診断：Gummy smile (以下GS)、上顎左側中切歯外傷既往、下顎左側中切歯欠損を伴う high angle 骨格性上顎前突。治療方針・経過：上顎左側中切歯、同右側第二小臼歯、下顎右側側切歯を抜歯してマルチブラケット装置で術前矯正治療後、Le Fort I 型骨切り術 (以下 LF1)、下顎枝矢状分割術 (以下 SSRO) で上顎上方、下顎前方移動施行。動的矯正治療期間2年4か月、現在保定11か月。

#### 【症例2】

初診時年齢23歳1か月、女性。主訴：上下顎側切

歯間開咬、口唇突出、GS。診断：GSを伴う上下顎左右側側切歯間開咬。治療方針・経過：上下顎左右側第一小臼歯を抜歯してマルチブラケット装置で術前矯正治療後、LF1とSSROで上顎上方、下顎前方移動、advancement genioplasty (以下AG) 施行。動的矯正治療期間2年9か月、現在保定2か月。

#### 【治療成績】

症例1は変則的な抜歯であったが、2例ともGS、顔貌、咬合が改善、下顎頭形態も良好で、症例2は気道も拡大した。

#### 【考察、結論】

LF1とSSRO、必要に応じAGを追加することでGSを伴う顔貌と咬合が改善した。

## 抄 録

## ポスター発表

## P-1) 同仁病院歯科口腔外科スタッフの接遇に関するアンケート調査について

○宮平生衣<sup>1,2)</sup> 大嶺彩乃<sup>1,2)</sup> 砂川真好<sup>1,2)</sup> 玉城麻留巳<sup>1,3)</sup> 松堂香織<sup>1,2)</sup> 圓谷智之<sup>1)</sup> 吉田誠<sup>1)</sup>

医療法人八重瀬会同仁病院

1) 歯科口腔外科 2) 歯科衛生士室 3) ナースアシスタント

## 【目的】

当科では、患者への対応に力を入れ、日々の臨床に取り組んでいる。

この度、患者から受けた不適切な接遇態度に関する指摘を契機にアンケート調査を実施した。

## 【材料と方法】

治療終了の患者を対象にアンケート用紙を配布し回答を得た。

調査期間は、2023年7月から2024年5月にかけて、1回目は現状把握、2回目は接遇セミナー受講後、3回目はスタッフ間のミーティング後の結果を比較した。

## 【結果】

1回目の調査では「悪い」が4件（0.26%）あったが、2回目では18件（0.88%）に増悪し、3回目では5件（0.33%）に減少した。「良い」は常に多

数（76%～99%）を占めた。

## 【考察】

2回目の調査では「悪い」が増加したため、「悪い」と答えた患者の声に注目し、対応の改善の為スタッフ間のミーティングを行ったところ、3回目の調査では減少した。

これはスタッフ間の意思統一や改善策が効果を発揮したためと考えられる。

ただし、依然として一定数存在していることは事実で0%を目標にさらなる対応が求められる。

## 【結論】

今回の調査は、接遇に関する現状把握～改善を目的とし、調査の結果、数字の変化は少なかったが、患者の実際の声を傾聴することにより、患者対応に対する自覚が高まった。

## P-2) 歯科治療中に生じた縦郭に及ぶ皮下気腫の1例

○又吉亮<sup>1)</sup> 後藤新平<sup>1)</sup> 島田袈彩<sup>1)</sup> 慶田友里恵<sup>1)</sup> 照屋大貴<sup>2)</sup> 仲宗根敏幸<sup>2)</sup>

1) 医療法人徳洲会南部徳洲会病院 歯科口腔外科

2) 医療法人徳洲会中部徳洲会病院 歯科口腔外科

## 【症例の概要】

42歳、女性、身長161.2cm、体重48.0Kg。近在歯科医院で右下6遠心根をヘミセクションした。創部治癒後に歯肉切除を行ってから支台歯形成を開始したところ、疼痛を訴え治療中止。著明な顔貌腫脹を認めため皮下気腫と判断され当科紹介となり、同日受診した。

顔貌は左右非対称で右側頬部と頸部の著明な腫脹と握雪感を認めた。CT撮影したところ、頬部隙から傍咽頭間隙、上縦郭に至る範囲に気腫を認めた。

## 【治療方針】

入院下に抗菌薬を投与して経過観察する方針とし

た。患者へは安静を指示した。

## 【治療経過】

入院下にピクシリン1g div 3回/日で投与開始し、入院第8日目で退院した。

## 【考察】

歯科治療時の皮下気腫は抜歯時に生じることが多く、女性に生じることが多いと言われている。縦郭に及ぶ気腫は感染を伴うと生命予後に関わる場合があるため、注意深く対応する必要がある。

## 【結論】

今回我々は縦郭に及ぶ皮下気腫を経験したので、その概要を報告した。



### P-3) その症状、口腔乾燥症？口腔カンジダ症？低亜鉛血症？それとも？

○澤田南海子 仲西奈穂 新谷晃代

おもと会大浜第一病院 歯科・口腔外科

#### 【緒言】

日常臨床では、口腔内に明らかな器質的疾患をもたないが様々な症状を有する症例と遭遇する機会が多い。今回初診時に口腔がん、白板症、口内炎、扁平苔癬や扁平苔癬様病変と診断した症例以外で口腔内に疾患を特定できない症状を有する患者の実態を把握すべく臨床統計的検討を行った。

#### 【対象】

2022年4月～2024年3月までの2年間に当科を受診した口内のひりひり感・ねばねば感・ザラザラ感などの主訴を有する患者のうち、上記診断以外の67症例を対象とした。結果：男性13名、女性54名。年

代は30代から90代と幅広く70代が全体の約3割を占めた。疾患の内訳は口腔乾燥症28例、口腔カンジダ症23例、亜鉛欠乏症21例、口腔不安症9例、歯の刺激6例、口腔異常感症3例、舌痛症2例であり、疾患が重複する症例は20例存在した。

#### 【考察】

症状の発症には複数の原因や疾患が関与していることが分かった。一見不定愁訴と捉えがちな非特定な複数の症状も多方面から考察し、診断する必要がある。



# 赤い羽根

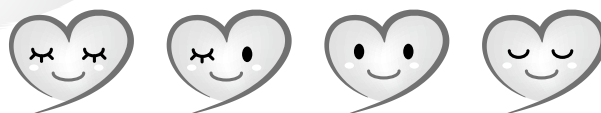


令和6年度

## 共同募金のご寄付について(お礼)

平素より、本会会務運営に関しまして御協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、時節柄出費多端の折にもかかわらず、この度赤い羽根共同募金へのご寄付にご協力頂きまして衷心より感謝申し上げます。

お寄せいただいた浄財（**1,008,000円**）は、本会館において12月12日贈呈式をおこない社会福祉事業の貴重な財源として配分させていただきました。





# 那覇市立石田中学校5年連続奨励賞受賞

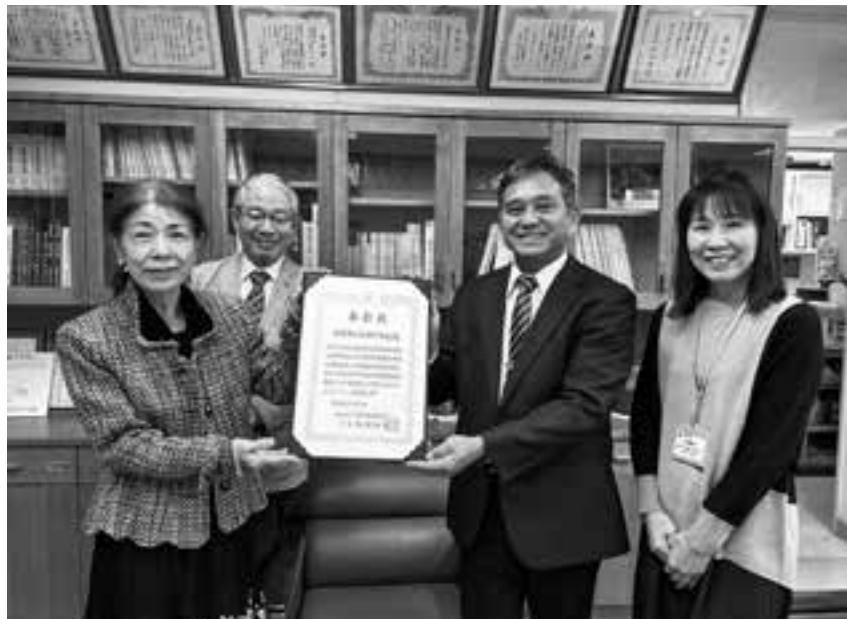
## 第63回(令和6年度)全日本学校歯科保健優良校表彰報告

学校歯科担当理事 玉 城 齊



令和6年12月19日木曜日に石田中学校を訪問して、表彰状の授与に行ってきました。石田中は毎年優良校募集に応募して5年連続、奨励賞を受賞されています。

去年までは、長堂忍先生が学校歯科医を務めていましたが、今年度より長堂芳子先生に引き継がれました。昼食後には歯みがき実施し、保健委員が中心に歯科保健活動を積極的に行っています。社会人になったときには、石田中で学んだことが健康維持にとって、大きな財産となるでしょう。石田中学校の伝統になりつつあることを実感しました。



## 寄 付

沖縄歯科研修同好会の寄付金により下記の備品を購入いたしました。

寄付年月日	寄付者氏名	品 名	数量	金額	設置場所
1 R6.9.19	沖縄歯科研修同好会	寒天コンディショナー	1	80,300	学 校
2	〃	ソルフィーFカチットメインチューブ	1	62,000	センター
3	〃	超音波洗浄機	1	115,000	センター
4	〃	医療用抑制ボード	1	115,000	センター
5	〃	VALO 回路基板	1	48,000	センター





・ 県外報告 ・

## 第88回 全国学校歯科保健研究大会

日時：令和6年10月17日（木）11時～17時  
場所：出島メッセ長崎 コンベンションホール2F

学校歯科委員会副委員長 仲里 耕治

〈ハイブリット開催〉

### プログラム

#### 1. 開会式・表彰式

#### 2. 特別講演

「夢持ち続け日々精進」

株式会社ジャパネットたかた創業者 高田 明

#### 3. シンポジウム

「学校歯科健康診断の未来図～学校歯科健康診断におけるDXの可能性～」

《座長》

公益社団法人日本学校歯科医会

会長 山田 尚氏

〈基調講演〉

公益社団法人日本学校歯科医会

常務理事 水谷 成彦氏

#### シンポジスト

一般社団法人日本デジタル歯科学会理事長

公益社団法人日本歯科医師会常務理事

一般社団法人奈良県歯科医師会会長

末瀬 一彦氏

大阪大学歯学部附属病院口腔医療情報部長

野崎 一徳氏

Science Tokyo（東京科学大学）

データサイエンス・AI全学教育機構

教授 木下 淳博氏

#### 4. 閉会式

##### 【報告】

第88回全国学校歯科保健研究大会が、長崎県長崎市にて開催された。本大会は、年に一度開催され、沖縄県においても2018年に第82回大会が宜野湾市にて開催されている。

毎年一貫した大会のメインテーマは『口腔から全身の健康づくりを目指して』であり今回のサブテーマは、『健口』から『健康』へつなげる学校歯科保

健の未来図であった。

開会式・表彰式の後、株式会社ジャパネットたかた創業者高田 明氏による「夢持ち続け日々精進」という題目で特別講演が行われた。

高田社長が仰っていた中で印象に残ったのが、『とにかく今を懸命に生きる事自分のやるべき事に集中する事、恐れず行動に起こす事、この3点を意識して生きよう』という言葉にはとても感銘を受けました。

15分の休憩後シンポジウムに移り「学校歯科健康診断の未来図～学校歯科健康診断におけるDXの可能性～」と題して座長を山田 尚氏が務め、基調講演を水谷 成彦氏が行いシンポジストに末瀬一彦氏、野崎一徳氏、木下 淳博氏の3氏が務めた。

冒頭の挨拶では、座長より「学校歯科健康診断結果のICT化に関しては、文科省がすすめる統合型校務支援システムの普及によりデータ管理ならびに分析による学校としての健康教育および保健指導に寄与しているといえる。

また、その流れと共にICTを活用した歯科保健指導が必須になってきている。」と述べていた。

基調講演の中でも、文部科学省や政府は学校健康診断結果データを電子化し、効率的に集積し、PHRと統合することもあわせて、ビッグデータとして、健康教育や指導に使用することだけでなく、学校外においても地域や国レベルでの効率的で効果的な利活用を推進していると述べていて今後、全国的に口腔内スキャナーを用いた検診も視野に入れてDX化を進めて行きたいという言葉で締められました。

閉会式・懇親会は時間の都合上参加する事が出来なかったが、各先生方のDX化に向けての想いが溢れるとても意義ある大会だったと思う。





• 県外報告 •

## 第74回 全国学校歯科医協議会

日時：令和6年11月7日（木）15時30分～18時  
場所：宮崎県シーガイアコンベンションセンター

学校歯科委員会委員 栗田宅哉

### ①児童生徒の健康格差問題及び新型コロナウイルス感染症の影響について

国立大学法人東京科学大学大学院医  
歯学総合研究科 歯科口腔衛生学分野

教授 相田 潤

本講演では各データから読み取れる健康格差についての講演であった、現在8020達成者の数は増加しているが、高齢者の歯科受診率は増加の傾向にあるという報告があった、これは残存歯が増えた結果、歯周病、及びう蝕処置が増加した事によるものであり、今後の歯科に於いて8020の達成だけではなく健康格差の減少の必要性を感じた報告であった。また児童に於いての報告では歯科の有病率は視力について2番目という事、医療費に於いては呼吸器疾患に次いで2番目に高いという事であり、自

身が考えていたより高い数字であり、学校サイドにも知ってもらいたい事項に感じた、またCOについての報告ではCへの移行率が非常に高いとの報告もなされていました、このことに関してやはりフッ化物洗口有効でありその有意性の報告としてブラッシングを行っている学校とそうでない学校で前歯のう蝕に於いて減少をみとめたもの臼歯部に於いては有意差を認めなかったがフッ化物洗口を行っている学校では臼歯部に於いてう蝕有病率に有意差をみとめたとの報告もありCOは臼歯部に多く認められることが多いことを考えるとこの報告はもう少し周知されるべきと考えられた、他数々のデータ報告から見てとれる今後の課題、方向性を考える機会となる貴重な講演であった。

報告事項

## 令和6年度 全国学校保健・安全研究大会

日時：令和6年11月8日（金）9時30分～15時30分  
場所：宮崎県シーガイアコンベンションセンター

学校歯科委員会委員 栗田宅哉

### 第二課題保険管理 第5課題 歯・口の健康づくり

第二課題では栃木県小山市立豊田小学校の報告では「感染症の予防と自分の健康を守る」意識を高めるため生徒にカラダづくりファイルというものを作製し、その中で歯と口の健康づくりを推進し、コロナ期間であったためマスクを着用していても歯の形状や歯ブラシの方法を確認できるようペーパークラフトの歯の模型を利用することでう蝕有病率の減少やDMFT指数の減少につながったとの事であり、参考になる活動と考えられた。

第五課題では大阪府立貝塚高等学校の報告では、歯科校医と生徒保健委員会とのかかわり合いの重要性を非常に強く感じる報告であった、日々の診療の傍ら歯科保健相談を定期的に学校に出向き行っている先生には感銘を受けました、その結果3年生の生徒の進路では歯科衛生士を希望する生徒も多いという事は特筆すべきことと感じました。

• 県内報告 •

## 令和6年度 歯科医療従事者技術向上支援研修会

日時：令和6年12月1日（日）10時～16時30分

場所：沖縄県口腔保健医療センター 大研修室

学術委員会委員長 **新城 美由紀**

『歯周病を治せる歯科衛生士を目指そう』と題して堤内久枝先生(DH HIYOKOCLUB代表)による、歯科衛生士対象の研修会が開催されました。

堤内先生は、スケーリングだけ行う歯のクリーニング屋さんではなく、口腔の問題を見落とすことなく健康な口から全身の健康へ導ける歯科衛生士の養成を目指しているそうです。特に歯周病は、体調、ストレス、生活習慣、ホルモンバランス、免疫、また全身の疾患も大きく関係してくるため、メンテナンス時にそのような患者さんの変化を見落とさずに寄り添える歯科衛生士育成を目指していらっしゃるそうです。

本来は数日間かけて学んでいく内容を1日に凝縮して教えていただきました。実習はシャープニング・ストロークの実習、顎模型・マネキンを使用したSRP実習でした。

実習の際には、堤内先生とアシスタント(DH河本寿子さん)が、受講生一人ずつに丁寧に指導してくださいました。

受講後のアンケートでは、「SRPが苦手で、疑問に思っていたこともあったが、今日の講義や実習

で、苦手意識が少し克服できた感じ。SRPに対する意識をあげることができた。自己流や間違っやり方を直してもらった。歯周病が全身と関連があるということをしっかり説明できるようになりたい」などの感想がよせられました。また、一方で、「デモの際、手元が見えづらかった。(受講生の)人数を減らして、もう少しゆっくり教えてもらったり、実習をする時間がほしかった」などの意見もありました。離島から参加されている方もいらして、「離島医療の向上のため、離島での研修会開催をしてほしい」という要望もありました。

アンケートの結果をもとに、来年以降もよりよい研修会を開催できるよう、検討していきたいと思えます。

今回、実習で使用する器具道具を準備できていない受講生が数名いたことは、残念でした。(事前に相談していただければ、対応できたと思います)

また、毎年、マネキンの貸し出しを快諾してくださる衛生士学校のご協力にも感謝致します。受講者は28名でした。



～ホームページ改訂特別委員会～

# ホームページ改訂特別委員会が発足

ホームページ改訂特別委員会 委員長 島 袋 亮

令和6年5月『時代に合った、目的地にたどり着きやすいホームページを目指すべく』ホームページ改訂特別委員会が発足されました。

調査広報委員会 委員である私が委員長に任命され特別委員会のメンバーは以下の通りです。

- 調査広報委員会理事…………… 平 良 和 枝
- 調査広報委員会 委員…………… 張 江 昌 宏
- 沖縄県口腔保健医療センター理事（副会長）…………… 渡慶次 彰
- 沖縄歯科衛生士学校運営委員会 副委員長…………… 金 城 康 哉
- 地域保健委員 オブザーバー…………… 高 嶺 邦 朗
- 地域保健委員 委員…………… 下 所 由 美 子
- 沖縄歯科衛生士学校…………… 眞玉橋 由 和
- 沖縄県歯科医師会事務局…………… 上江田 浩 明

幅広く意見や助言を求め、調査広報委員会にて議論を重ね、R6年12月の理事会をもってホームページ改訂案が承認されR7年1月7日よりリニューアルホームページが公開されました。

この場をお借りして、ホームページ改訂特別委員会の皆様、調査広報委員会の皆様ホームページデザインを担当して頂いた、株式会社GENOVA DESiGN菊池様に感謝申し上げます。沢山の知恵とご助言を下さり誠にありがとうございました。

トップページまたはメニューに各種ボタン設置し目的のページにたどり易く探しやすくなりました。

早速ですが、保険委員会よりベースアップ評価料に係る資料が掲載されていますので会員専用ページにログインして是非閲覧してください。

今後とも会員専用ページが皆様のお役に立てるよう、有益な情報を提供していきます。

また、新たにE-Systemのアクセスボタンも設置しました。研修動画も沢山閲覧できますので、院内研修などに御活用ください。

## ホームページが新しくなりました。



メニューボタン

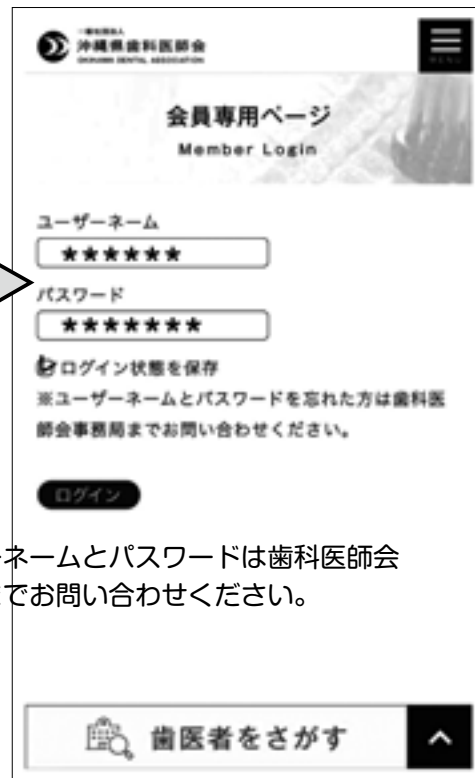
【表示はスマートフォンの画面を表示しております】



会員専用ページと JDA E-System に  
アクセスし易くなりました。



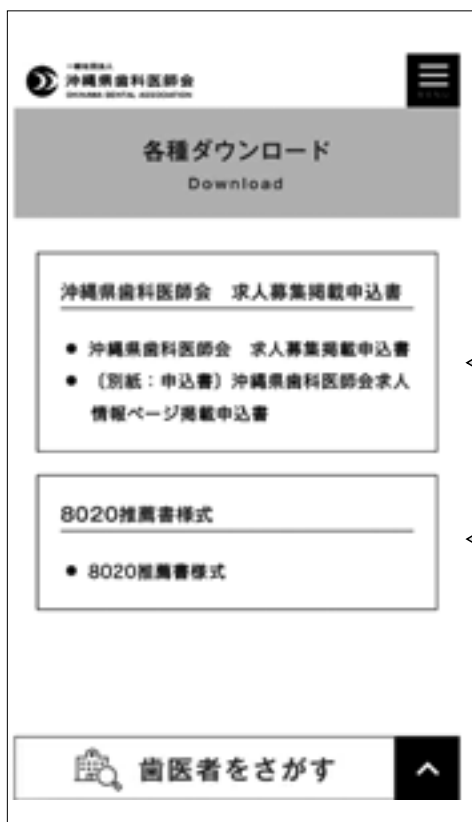
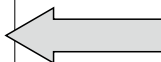
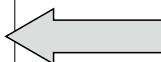
会員専用ユーザーネームを入力します  
ログイン状態を保存に  
チェックマークを入れます



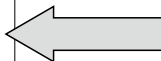
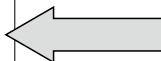
\*ユーザーネームとパスワードは歯科医師会  
事務局までお問い合わせください。



今後、各種ダウンロード・会員通知を活用していく予定です



現在、各種ダウンロードにはホームページへの求人募集掲載申込書8020推薦書様式が掲載されています



ホームページ

JDA E-System ユーザー ID には、  
お持ちの生涯研修カードの  
右下 6 ケタの数字を入力  
パスワードには、初めてログインする  
先生は「0000」（ゼロ）の文字を  
入力ログインしてください



歯科医師会へのお問い合わせは  
メニューボタンを押した後  
右のボタンを押してください







スマホの場合、電話番号を  
押していただくと



発信 098 996 3561 を押すと  
電話をすることができます

ホーム  
ページ

## 会員プロフィール

- ①氏名(ふりがな)
- ②生年月日
- ③出身大学・卒業年度
- ④歯科医院名・所在地
- ⑤医院の特徴・PR
- ⑥趣味・マイブーム・自己紹介
- ⑦家族構成・ペット等
- ⑧県歯科医師会に望むこと



かど まつ すがこ  
①門 松 須賀子

②1974年6月23日

③神奈川歯科大学卒  
1999年卒

リニックです。女性ならではの目線や気配りで、長期間に及ぶ矯正治療へのサポートをさせて頂いております。

⑥一人息子が「うるせえ！ババア！」と、悪態付くまでは世界の国々を一緒に旅行することが楽しみです。

⑦中2の息子・5歳のパピヨン・ばあちゃん

⑧家庭と仕事の両輪で忙しい女性会員でも、歯科医師会主催のセミナーや講演会など、オンライン参加やオンデマンド配信があると参加率の向上に繋がるかと思います。

④医療法人 じのん矯正歯科クリニック  
沖縄県宜野湾市宇地泊 1-8-5

⑤ドクター、スタッフを含め女性スタッフのみのク



いち むら たかし  
①市 村 崇

②1978年10月18日

③朝日大学卒  
2003年卒

⑥ジョギング

⑦妻、子供2人

⑧県民の歯と口の健康を守るための活動

④みどり町さくら歯科医院  
うるましみどり町 6-2-16

⑤地域の頼れる歯科医院

## 歯槽骨消失 歯ぐらつく



梅村誠

セルージュデンタルクリニック (宜野湾市)

以前は「歯槽膿漏」と呼ばれていた歯茎の病気が、最近では「歯周病」と呼ばれるようになりました。歯磨き粉やうがい薬などのコマースで「歯周病」と耳にすることが増えてきました。歯槽膿漏とは歯茎からうみが出てくる症状を言ったものです。歯周病とは歯の周りの病気の総称で、歯肉炎と歯周炎に分けられます。

健康な歯茎は適度な硬さと弾性があり、歯茎の表面にはステイプリングと呼ばれるミカンの皮の表面にある小さなくぼみのようなものが見られます。歯は歯槽骨と呼ばれる骨で支えられ、歯の見える歯冠部と歯槽骨の中に埋まっている歯根部分に分けられます。歯根部分は歯冠部の1・2～2倍の長さがあります。

歯茎の周りの磨き残しがあると、磨

### 怖い歯周病

歯槽骨消失の怖いのは、一度消失した歯槽骨が回復しないという点です。歯科医院に行くと、歯石除去や歯ブラッシングを受けて元のきれいな歯根部分になっても、歯槽骨は回復しないのです。

まず歯肉炎にならないように、歯周病は早めに行う必要があります。歯科医院で定期的なメンテナンスを受けること、毎日の正しい歯磨きが重要になります。歯ブラッシングは磨けていない位置が分かりづらいので、歯科医院で指摘してもらおうのがよいでしょう。

歯槽骨消失の中には、唾液の石灰化成分で固くなったものが歯石となり、そこから毒素で歯茎は暗赤色になり、歯茎が腫れ、歯ブラッシングのときやリンゴのような固いものをかんだときに出血するようになります。

歯肉炎では歯槽骨の吸収はないのですが、歯肉炎が進行すると歯周炎になり、歯槽骨の吸収が見られるようになります。歯槽骨に埋まっていた歯根部分の約2分の1がなくなると、歯のぐらつきが出てくるようになります。3分の2程度がなくなると、「かむと痛い」「ぐらついてしっかつかめない」という症状になってきます。

第3水曜日掲載

令和6年12月18日 (水曜日)

## 完治難しい開咬治療



山内昌浩

山内矯正歯科クリニック (嘉手納町)

開咬とは歯でかんだ時に上下の歯の間、多くは前歯の間に隙間がある状態です。食べ物をかみ切れず、話す時に息がもれたり、舌を上手に使うことができないため聞き取りにくい言葉になったりします。

指しゃぶりや舌が大きい、舌の癖(舌の舌の位置が悪く、舌を上下の前歯の間に出して発音したり飲み込んだりする癖)、鼻炎、副鼻腔炎、へんどう肥大といった鼻の病気などによる口呼吸が原因です。まず、3歳を過ぎても指しゃぶりがあれば、徐々に止めていくよう指導する必要があります。

矯正治療は水久前歯が生えそろった時期、または水久歯が全て生えそろった後に開始する場合があります。鼻の病気があれば耳鼻科受診を勧め、舌の癖があれば、舌や唇のトレーニングを

### 口呼吸が原因

行うこともあります。

①水久前歯が生えそろった時期では、マウスピースや舌を前に出させない装置、歯にボタンのような装置(フラケット)とワイヤを使ったり、上あごを広げて鼻の通りを良くするよう試したり、舌を口の中に収めやすくすることもあります。時々鼻炎やいびきが改善したという患者さんもいます。

②水久歯が全て生えそろった後は、上下全ての歯にブラケットとワイヤを装着するマルチブラケット装置が主役ですが、最近ではマウスピースを使用することもあります。水久歯を抜歯したり、歯肉に直接ワイヤなどの歯科矯正用のネジを挿入したりすることもあります。

顔が長いなど上下のあごのずれが大きい場合は、総合病院の歯科口腔外科や形成外科と連携して、あごの手術も行う外科的矯正治療をします。その後、歯の後ろをワイヤで固定したり、マウスピースを使用して歯並びを維持したりします。開咬は矯正治療で治しても、原因が完治しないため戻りやすく、長い間維持することができないこともある難しい歯並びです。

第3水曜日掲載

令和7年1月15日 (水曜日)



地方紙だより

琉球新報 2024年11月30日

県歯科医師会は1947年に沖縄歯科医会として設立された。その後、52年に琉球歯科医師会となり、54年沖縄歯科医師会、72年の復帰に伴い、現在の名称の沖縄県歯科医師会となった。75年には待望の県歯科医師会館が落成した。

県歯科医師会の事業計画に福祉歯科診療所を設けるなどの項目があり、障がい者の歯科治療と保健指導を目的として口腔衛生センター歯科診療所を会館内に開所した。その後、2014年南風原町に移転し、現在は口腔保健医療センターとなっている。



当初は施設入所の軽度心身障がい児(者)を対象に、歯科医師会会員の輪番制で診療を行っていた。その後、重度心身障

眞喜屋 睦子

論壇

い者に対する歯科治療の要望が出たことで、その対応に苦慮していた。

そんな状況を打開するため、1977年に県歯科医師会と県が派遣歯科医師受け入れについて協議し翌年、厚生労働省の医師派遣制度で「重度心身障害児(者) 全身麻酔下歯科治療事

を通しての全身麻酔下歯科治療の必要性に対する対策も開始した。

①に対しては02年から常勤歯科医師を雇用した。②に対しては「障害者歯科地域協力医研修会」を開催している。③に対しては04年から当センターにおいて日帰り全身麻酔の実施(専任

沖縄の障がい者歯科医療

ともしび消さずにまい進

業」の導入を決定し、79年から事業を開始した。この事業は地域の基幹病院に口腔外科が設置されたことで、2016年に終了している。

併せて、当センターの課題である①輪番制では計画的診療が困難②全身麻酔下歯科治療後のフォローアップ先の不足③年間

歯科麻酔科医の雇用)など各課題への対策を行ってきた。他県へのアクセスが容易ではない離島県である当県での障がい者歯科治療を、県内で完結させるために努力してきた以上のような取り組みは、さまざまな県でのモデルケースともなり、評価していたとき、12月14、15

(名護市、歯科医師、60歳)

日に「より身近な障害者歯科医療を自指して」をテーマに日本障害者歯科学会全国大会をコンベンションセンターで開催することとなった。

その中で、県民の方々にも障がい者歯科に触れる機会を設けるために、無料県民公開講座を企画した。大会初日の14日(土)に元NHKアナウンサーの武田真一さんと「天才児ひなとかのんのおひさま日記」でおなじみの森山和泉さんの講演を行う。15日(日)には「『チャンプルー文化』の地域包括ケアシステム」と題したシンポジウムを開催する。

引き続き、当県の49年に及ぶ障がい者歯科医療の取り組みのともしびを消すことのないよう、まい進していきたいと思う。

●琉球新報

令和6年11月30日(土曜日)

## 地方紙だより

## 論壇



勝連義之

発達障がいのある方が歯科治療を受ける場合、診療室に入れない、口を開けることができない場合がある。これらの拒否行動は、自分の気持ちをうまく表現できないことから起きている可能性がある。緊急性がある場合は抑えて治療することもあるが、抑制治療はさらなる拒否行動につながるためなるべく避けたい。

障がいがあるために自分で

## 障がいの者の歯科治療

磨きができない、痛みを訴えることができない、歯科治療に対する恐怖感が高いなどの理由で虫歯や歯周病が重症化しやすい環境にある。歯科医療従事者は障がい特性を理解し、障がいのある方へ寄り添いながら治療に臨むことが必要とされ、まずは感覚過敏を取り除くことや、治療のトレーニングから始めていく。

患者が診療室に入ることができなければ待合室でトレーニングを行い、診療室内では刺激の少ない歯ブラシや歯科用の鏡などの器具からアプローチを開始し、口を開けておく時間の見通しをつけるために、数を数えながら対応するといった工夫をする。決して無理をさせず「どう治療するか」以前に「どう対応するか」を考えることが重要となる。受診の際には、事前に電話などで障がいの種類、こだわりや行動の特徴、理解力などを分かる範囲で説明していただくを受け入れが可能かどうか判断しやすくなる。

治療困難であっても、全身麻酔下歯科治療も視野に入れ、高次医療機関への紹介などの次のステップにつなげていくこともある。そのような障がいの者の口腔の健康の維持と向上を目的に、障がいの者の歯科健診、歯科治療・予防処置のできる医療従事者を育成することが必要とされている。県歯科医師会では、地域で障がい者を受け入れられる歯科医師の育成を旨とした障害者歯科地域協力医研修会を開催している。現在は本島、宮古八重山地区において91診療所が登録されている。

このような取り組みの一環を、13から15日に宜野湾市で開催される「第41回日本障害者歯科学会総会および学術大会」より身近な障害者歯科医療を「目指して」において、講演・発表を行う。14日午後には県民公開講座もあり、県民の皆さまが障がい者歯科を知る良い機会になると思われる。

(那覇市、歯科医師、51歳)

## 医療従事者の育成重要

●沖縄タイムス

令和6年12月7日(土曜日)



地方紙だより

琉球新報 2024年12月30日

本紙11月22日付に「歯科医倒産、休廃業最多」の見出しで掲載された。今年10月時点で126件の歯科医院が閉院し、2000年の集計開始以降の年間最多を更新した。去年は104件閉院し、前年同期比1・8倍だという。県歯科医師会会員も同様で、去年の閉院数は4件、今年10月時点で8件、さらに年内に数件の歯科医院が閉院を予定し、倍以上になるのは確実だ。



玉城 斉

その要因として、高齢化による後継者不足、円安による金属材料などの輸入材料費の高騰、そしてマイナ保険証の整備への非対応を挙げている。特に、マイナ保険証に関しては今年3〜4月にかけて、東京だけで病院・診療所211件、歯科医院84機関

論壇

が廃業したと伝えられた。その余波は沖縄全域にみられる。私の歯科医院でも、通っていた歯科医院が閉院したため、来院したという方が数人いる。近くに歯科医院はあるが、予約がいつばいで受診できないとの理由で、他の市町村から来院する方もいる。最近では離島から

増える歯科医の閉院

定期受診で口の健康保持を

来院する患者さんも出てきた。さらに、中部地区のある地域では高齢化による閉院に伴い、近隣の歯科医院の受診は3カ月待ちになったという。北部地区では、急患が「歯が痛い」と来院したが、「予約患者でいっぱいなので、他を当たってください」と断ると、「断られたのは

5件目です」と顔をゆがめて訴えたという。最終的には、救急病院を勧めるかもしれない。年々歯科医院の閉院が増加すると思われる。

では、そのような状況下で、県民はどう対応していけばいいのか。まず、自分自身の歯科医を確保する。つまり「かかりつけ歯科医を持つこと」だ。次に「定期的な受診を心がける」。口の中の疾患には予兆がある。虫歯であれば、初期の虫歯は痛みなく進行する。歯周病であれば、歯ぐきの腫れや出血が診られる。大事に至る前に、定期受診を心がけていただきたい。

また、定期的な歯科受診は健康長寿の秘訣だと東京都立大学名誉教授の星旦一先生ほか、多くの専門医が述べている。さらに「歯科医師会が主催するデンタルフェアや県民公開講座に積極的に参加する」。歯・口に関する意識向上と予防方法を学ぶ絶好の機会だ。今年10月と12月に開催された県民公開講座は大好評だった。受講された患者さんから「大変勉強になりました。誘ってもらい、ありがとうございました。ございました」とお礼の言葉を頂いた。

琉球新報

令和6年12月30日（月曜日）

（南風原町、県歯科医師会学  
校歯科担当理事、65歳）



# 理事会報告

■ 令和6年度 第17回定時理事会 令和6年12月10日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

## I. 承認事項

1. 変更届について
2. 沖縄県歯科医師会疾病共済給付金申請について
3. 第56回沖縄県公衆衛生大会の開催に伴う後援名義使用承認依頼について
4. 令和6年度第2回沖縄CDE会講演会共催の依頼について

## II. 議事事項

- 第1号議案 地域医療支援セミナー「PAP（舌接触補助床）の臨床」開催の提案に関する件  
 第2号議案 令和6年度「健康おきなわ21」推進協議会構成員の推薦・就任に関する件  
 第3号議案 事業計画に関する件

## III. 協議事項

特になし

## IV. 報告事項

1. 定例監査報告
2. 都道府県歯科医師会事務長事務連絡会出席報告
3. 令和6年度歯科医療従事者技術向上支援研修会報告
4. 今冬の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えた保健・医療提供体制の確認等について
5. 顔認証付きカードリーダー（パナソニック製）の不具合について
6. 令和6年度文部科学省補助事業 学校保健研修会（オンデマンド配信）の周知について
7. 第25回琉大未来共創フォーラムの案内について
8. 沖縄県新型インフルエンザ等対策行動計画の改定に係る意見について
9. 酸化エチレン（エチレンオキシド）の使用・排出実態把握について
10. 日本学校歯科医会「学校歯科医生涯研修制度」における「基礎研修」「更新研修」の案内ならびに受講者推薦のお願いについて
11. 第56回沖縄県公衆衛生大会における県知事表彰について
12. 第24回沖縄県健康教育研究大会の開催について
13. 令和6年度第1回沖縄県・沖縄県歯科医師会連絡会議について
14. 「令和6年度厚生労働省委託事業「在宅医療関連調査・講師人材養成事業」における研修会の実施について（協力依頼）
15. 新医薬品の再審査期間の延長について
16. 沖縄県市町村国保の資格確認書の様式について
17. 12月2日以降の訪問診療・オンライン診療におけるオンライン資格確認について
18. 自衛官診療証におけるオンライン資格確認の運用開始について
19. 医療機器の保険適用について
20. 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について
21. 「医療法人の事業報告書等及び経営情報等の電子的届出に係る報告システムについて
22. 保健医療機関及び保健医療養担当規則等の一部改正に関する疑義解釈資料の送付について（その1）」について
23. 令和6年度における「医療扶助のオンライン資格確認導入に係る医療機関等助成事業」の実施について（再周知依頼）

24. マイナ保険証を基本とした仕組みへ移行後の窓口等での案内について
25. 疑義解釈資料の送付について（その16）
26. 使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について
27. 電子処方箋の導入・活用課題等に関する医師・歯科医師向けのアンケート回答について（協力依頼）
28. 委員会報告
  - ①学校保健      ②地域保健
  - ③学術            ④医療管理・医業経営

## V. その他

1. センター診療実績について
2. 顧問先企業として貴社の掲載許可およびロゴ提供の依頼について
3. 理事手当について

## ■ 令和6年度 第18回定時理事会 令和6年12月24日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

### I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会会員（第1種）の退会について
2. 沖縄県歯科医師会死亡共済金給付申請について
3. 沖縄県歯科医師会疾病共済給付金申請について
4. 「学校安全教育調査研究委員会」報告書への名簿掲載について（継続依頼）

### II. 議事事項

- 第1号議案 歯科医療従事者の表彰に関する件  
第2号議案 沖縄県国民保護協議会委員への就任及び幹事の推薦に関する件

### III. 協議事項

1. 役員報酬等審議会への「諮問書」について

### IV. 報告事項

1. 第4回沖縄県立学校保健会理事会出席報告
2. 令和6年度自殺未遂者ケア研修「第2回かかりつけ医版」開催の知らせについて
3. 第56回沖縄県公衆衛生大会における被表彰者決定について
4. 令和6年度沖縄県医事功労者知事表彰の決定について
5. 財政制度等審議会「令和7年度予算の編成等に関する建議」に関する見解について
6. 令和6年度診療報酬改定結果検証（令和6年度実施）に係る調査への協力依頼について
7. J D A T 標準研修会（災害歯科コーディネーター養成研修会）の開催について
8. 令和6年度がんサバイバーシップ研究成果発表会・セミナーおよびがん研究シンポジウムの案内について
9. 都道府県歯科医師会医療管理・医療安全担当理事連絡協議会及び医療安全研修会の開催について
10. 電子処方箋システム一斉点検の実施について
11. 「沖縄県子ども計画（仮称）素案たたき台」に対する意見について
12. 日本補綴歯科学会と都道府県歯科医師会等の共催による生涯学習公開セミナーの募集依頼について
13. 日本歯科麻酔学会と都道府県歯科医師会等の共催による「安全な歯科医療を提供するバイタルサインセミナー」について
14. 「九州口腔衛生学会研修会助成事業」産業歯科医のための人材育成研修会について（周知依頼）
15. 救急医薬品等販売の案内について
16. 沖縄県地域医療構想セミナーについて
17. 委員会報告
  - ①社会保険      ②衛生士学校

## ③医療管理・医業経営

## V. その他

1. センター診療実績について
2. センター歯科医師雇用契約書について
3. 勤務時間の短縮等の措置について
4. デジタルサイネージ見積りについて
5. サイクルワークス（会員通知発送業者）配送料金の改定について
6. 沖縄歯科研修同好会からの寄贈品について
7. 新年会次第・パンフレットについて
8. 令和6年度第2回九州各県歯科医師会専務理事会における提出協議題について

---

**■ 令和6年度 第19回定時理事会 令和7年1月14日(火) 午後8時 口腔保健医療センター**


---

## I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会疾病共済給付金申請について

## II. 議事事項

- 第1号議案 会費減免・減額申請に関する件  
 第2号議案 令和7年度定時代議員会日程に関する件  
 第3号議案 厚生労働省の所管に係る令和7年秋の叙勲及び褒章候補者の推薦等に関する件  
 第4号議案 琉球新報社第54回新1年入学おめでとうの集い協賛に関する件  
 第5号議案 沖縄県三師会によるマイナ保険証の利用促進に関する件

## III. 協議事項

1. 沖縄刑務所との歯科技工士等養成教育に関する協定について

## IV. 報告事項

1. 令和6年度第2回沖縄県保険者協議会出席報告
2. 第74回全国学校歯科医協議会出席報告
3. 令和6年度全国学校保健・安全研究大会出席報告
4. 令和6年度歯科衛生士専任教員講習会Ⅳ・第15回日本歯科衛生教育学会出席報告
5. 令和7年度県立学校（県立中・高等学校、県立特別支援学校）における学校医・学校歯科医・学校薬剤師の推薦について（依頼）
6. 令和6年度病院における医療情報システムのサイバーセキュリティ対策に係る調査について
7. 「九州口腔衛生学会研修会助成事業」産業歯科医のための人材育成研修会について
8. 第204回臨時代議員会「地区代表事前質問用紙」の送付について
9. 第203回定時代議員会の要望事項に係る現況報告について
10. 令和6年度生涯研修セミナー（Aチーム・第2回）について
11. 歯科診療所等への医療用医薬品の安定供給について
12. 医療機器の保険適用について
13. 第7・8回日本口腔衛生学会認定地域口腔保健実践者研修会の開催について
14. 令和6年度第2回九地連協議会における提出協議題について
15. 委員会報告
 

①学校歯科	②地域保健	③保険
④センター	⑤学校教務	⑥選挙管理委員会

## V. その他

1. センター診療実績について



2. 沖縄総合警備保障（株）（ALSOK）契約料金改定について
3. 第41回日本障害者歯科学会決算（R5～R6）について
4. センター勤務医の雇用契約について
5. 職員の採用について

■ 令和6年度 第20回定時理事会 令和6年1月28日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会会員（第1種・第2種）の入会について
2. 沖縄県歯科医師会会員（第1種）の退会について
3. 沖縄県歯科医師会死亡共済金給付申請について
4. 沖縄県歯科医師会疾病共済給付金申請について
5. 会員種別変更届について
6. 全国禁煙アドバイザー育成講習会の後援について

II. 議事事項

- 第1号議案 沖縄県歯科医師会会費減額申請に関する件
- 第2号議案 令和7年度沖縄県北部及び離島地域の歯科衛生士確保事業補助金補助対象者認定審査会の開催に係る委員の推薦に関する件
- 第3号議案 新小学1年生おめでとうプレゼント紙面企画依頼に関する件
- 第4号議案 令和7年度公益社団法人日本学校歯科医会会長表彰被表彰候補者の推薦に関する件
- 第5号議案 産休補助教員の募集に関する件
- 第6号議案 患者紹介状の金額改定に関する件
- 第7号議案 歯科麻酔医の派遣～事前説明派遣費用及び全身麻酔派遣費用に関する件

III. 協議事項

1. 令和7年度予算について

IV. 報告事項

1. 令和6年度第2回九州各県歯科医師会専務理事会出席報告
2. 美ら島レスキュー訓練2024参加報告
3. 令和7年度歯科保健医療施策関係予算案について
4. 公益認定等ガイドラインの改定及び外部理事・外部監事に関する説明会の開催について
5. セーフティーネット保証5号に係る業況調査への協力について
6. 日本医師会総合政策研究機構副所長 原祐一先生 特別講演会の案内について
7. (一社) デジタル歯科学会 2024年度冬期セミナーの案内について
8. 「高齢者施設等での看取りや医療的ケアに関する研修会」開催の案内について
9. 第26回琉大未来共創フォーラムの案内について
10. マイナ保険証の利用率が低い施設への働きかけについて
11. 介護事業者のための業務継続計画（BCP）策定後の研修及び訓練に関するオンデマンドセミナー（令和6年度厚生労働省委託事業 業務継続計画（BCP）策定等に係るニーズ調査及び当該調査を踏まえた研修業務一式）の開催について
12. 令和7年度日歯生涯研修セミナー開催計画について
13. 第82回全国小学生歯みがき大会募集開始について
14. 令和6年度日本歯科医師会会員有功章受賞者及び授賞式について
15. 令和7年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」及び「歯・口の健康啓発標語コンクール」の実施について
16. 委員会報告
  - ①学校歯科
  - ②学校
  - ③教育課程編成

- ④医療管理・医業経営      ⑤学術      ⑥保険  
⑦調査広報

V. その他

1. センター診療実績について
2. 沖縄県歯科医警察協力会小委員会開催日について
3. スポーツデンティスト研修会の開催について
4. ホームページリニューアルについて
5. 報道各社との意見交換会について
6. 日本障害者歯科学会シンポジウムフライヤーについて
7. 第76回九州歯科医学大会について

## 編集後記

チャットGPTを使ってみた。

質問は、『沖縄県歯科医師会を一般人はどう思われるか、400字程度にまとめて。』

チャットGPT：

沖縄県歯科医師会は、地域の歯科医療の向上を目指す団体として広く認識されていますが、一般の人々の意識には幅広い側面があります。まず、沖縄県内の歯科医師会は、口腔衛生の啓発活動や予防歯科の推進に力を入れており、地域住民の健康に対する貢献が高く評価されています。特に、定期的な歯科検診や健康教育活動、歯の健康多くの人は歯科医師会の活動を直接感ずることが少ない、特にその運営また、歯科医療費の高額さや、歯科医師による診療内容に対する不信感が一部で存在し、歯科医師会がその改善にどれだけ効果的に向いているの総じて、沖縄県歯科医師会は地域医療に貢献している—

あなた：『沖縄県歯科医師会は沖縄県民に対してどのような形で接していただければ良いと思いますか。』

チャットGPT：

とりあえず、沖縄県歯科医師会が沖縄県民に対してより良い接し方をするためには、以下の点を意識することが重要です。歯科医師会が行う予防歯科や口腔衛生に関する啓発活動は、地域住民にとって非常に重要です。歯の健康を守るための知識を提供することで、早期発見や予防を促進することができます。健康セミナーや無料歯科検診、学校や地域で前の授業など、より多くの人々にアクセスできるように大切です。

ざっと、こんな感じだった。

プロンプト(Prompt)、チャットGPT(AI)との対話やコマンドラインインタフェース(CLI)などの対話形式のシステムにおいて、ユーザーが入力する指示や質問のことをとである。プロンプトの質によってチャットGPTの回答の質が決まるため、明確で具体的な指示を与えることが重要とのこと。

OpenAI (ChatGPT) のホームページより無料版にユーザー登録すれば履歴を残し使うことができるそうだが、小生のようにお試的に使う場合は、OpenAI (ChatGPT) のホームページの最初の画面の『今すぐ始める』をクリックすれば簡単に体験できます。

一度お試しあれ。

砂川 和徳

### 沖縄タイムス「歯の長寿学」 原稿募集について

沖縄県歯科医師会は、月1で沖縄タイムスの「歯の長寿学」欄に会員の先生のコラムを掲載しています。

内容は、歯の健康にまつわる事なら、なんでも構いません。

報酬はありませんが、医院名や先生のお名前は掲載されますので、イメージアップにつながるかと思います。

1. 掲載内容：歯の健康について(分かりやすく中学生が理解できる程度で、面白い内容をお願いします)
2. 文字数：800字
3. 掲載日：第3水曜日
4. 送付先：沖縄県歯科医師会事務局  
・メール：okisi@okisi.org ・Fax：098-996-3562 ・郵送：〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-1
5. 原稿料：なし

\*誠に申し訳ありませんが、原稿の採用および掲載日については、広報委員会に一任頂きたいと思っております。

\*同じタイトルや同じような内容の投稿に関しては、掲載されないこともあります。

\*掲載が決まりましたら事前に校正していただくことがございます。

\*ご不明な点がございましたら、事務局または広報委員までお問い合わせください。

### 沖縄県歯科医師会HPについて

沖縄県歯科医師会のホームページ(<http://www.okisi.org/>)では、「歯医者をさがす」のコーナーで、会員の先生方の医院の紹介をしています。内容に誤りや変更がある場合、訂正いたしますので、事務局までご連絡ください。

また、ホームページ全体の改善点やご要望がありましたら、事務局または広報委員まで、ご意見お寄せください。

広報委員：平良 和枝、上地 栄作、上原かんな、島袋 亮、砂川 和徳、張江 昌宏

### 令和7年1号

印刷日：令和7年2月14日

発行人：(一社)沖縄県歯科医師会

編集人：平良 和枝

発行日：令和7年2月14日

☎098 (996) 3561

印刷：株式会社とせ印刷

<http://www.okisi.org/>

E-mail chitose.f@gamma.ocn.ne.jp



## 8020達成者認定証の発行について

平素より本会会務運営にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、このたび本会では会員からご推薦いただいた8020達成者に標記の認定証を発行する事といたしました。

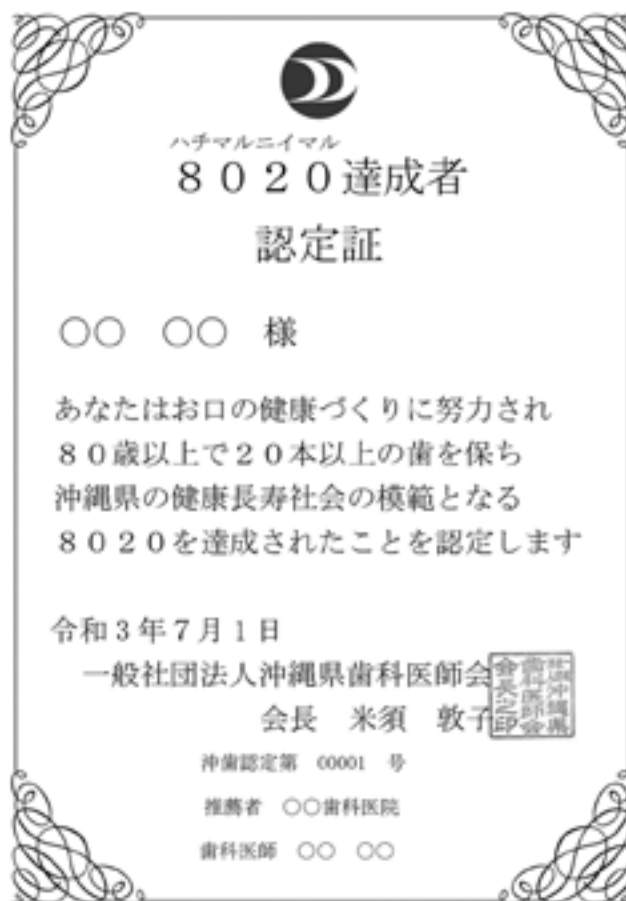
つきましては、該当者がいらっしゃいましたら別添の推薦様式にて、ご推薦いただきたく存じます。

過去に8020表彰を受けていらっしゃる方も認定証という事で改めて対象になります。

認定証は会員診療所に送付いたしますので、会員から達成者にお渡しいただきたく存じます。

会員各位のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

見本



連絡先

沖縄県歯科医師会事務局

TEL : 098-996-3561 FAX : 098-996-3562

## 8020達成者推薦書

沖縄県歯科医師会会長 殿

推薦者

医院名： \_\_\_\_\_

氏 名： \_\_\_\_\_

令和      年      月      日

以下の通り推薦申し上げます。

8020達成者推薦書		
氏 名	ふりがな	性 別
		男・女
生年月日(年齢)	明・大・昭      年      月      日      (      ) 歳	
ご本人連絡先	住 所	〒(      -      )
	電話番号	
現 在 歯 数	本	
自 立 状 態 (あてはまるものに○)	① 自力歩行可      ② 介助有りて歩行可      ③ 車いす ④ 外出困難      ⑤ その他 (      )	
補 綴 状 態 (あてはまるものに○)	① 不 要      ② 良 好      ③ 要 改 善	
特 記 事 項		

※県歯事務局へ郵送またはFAXにてご提出ください  
**(FAX : 098-996-3562)**

# 会員動向

会員：令和7年1月1日 現在513人

## 内 訳

種 別	男	女	計
1 種 会 員	302	45	347
2 種 会 員	16	4	20
3 種 会 員	36	29	65
4 種 会 員	2	0	2
終 身 会 員	69	10	79
計	425	88	513

## 入・退会状況（1種・2種・終身）（正会員）

種 別	男	女	計
入 会 者	1	1	2
退 会 者	1	0	1
計	0	1	1

## 正会員地区別

地 区	男	女	計
北 部 地 区	23	1	24
中 部 地 区	119	16	135
南 部 地 区	215	35	250
宮 古 地 区	15	7	22
八 重 山 地 区	15	0	15
計	387	59	446

## 入・退会状況（3種・4種準会員）

種 別	男	女	計
入 会 者	0	0	0
退 会 者	0	0	0
計	0	0	0

## 正会員動静（新入会員2名）

氏 名	生年月日	医 院 名	就業所所在地	出 身 校	卒業年月	会員種別	入会日
高 嶺 邦 明	S56.6.6	たかみね歯科クリニック	那覇市松山1-9-2	福岡歯科大学	H19.3	2種会員	令和7年1月1日
光 安 泉	S62.11.1	なは歯科医院	南城市玉城字富里668-5 南城ビル201	日本歯科大学 新潟生命歯学部	H25.3	2種会員	令和7年1月1日

## 退会会員（1名）

氏 名	日 付	理 由
島 袋 侑 哲	令和6年12月25日	ご逝去（中部地区）終身会員





組合員の皆様

## 令和7年度の国民健康保険料改定について

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

組合員の皆様に負担いただく全国歯科医師国民健康保険組合の国民健康保険料について、国庫補助の大幅な削減、保険給付費、高齢者・介護関係の拠出金等の増加に対応し、理事会等で慎重に審議した結果、令和7年度より改定させていただきます。

詳細な保険料額は、令和7年3月16日開催の第96回通常組合会にて議決採決後お知らせする予定です。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

**【問い合わせ先】**

沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-1

TEL: 098-889-2288

全国歯科医師国民健康保険組合 沖縄県支部

## 令和6年度における診療報酬の支払予定日

納入月 ・ 支払月	診療報酬	
	保険者から基金への 納入期日	基金から医療機関への 支払日
令和6年 4月	4月19日(金)	4月22日(月)
5月	5月20日(月)	5月21日(火)
6月	6月20日(木)	6月21日(金)
7月	7月19日(金)	7月22日(月)
8月	8月20日(火)	8月21日(水)
9月	9月19日(木)	9月20日(金)
10月	10月21日(月)	10月22日(火)
11月	11月20日(水)	11月21日(木)
12月	12月19日(木)	12月20日(金)
令和7年 1月	1月20日(月)	1月21日(火)
2月	2月20日(木)	2月21日(金)
3月	3月19日(水)	3月21日(金)

## 令和6年度 レセプト受付日と診療報酬等支払日(国保)

	レセプト受付 協力日	レセプト受付 締切日	診療報酬等の支払日
令和6年4月	9日(火)	10日(水)	22日(月)
令和6年5月	9日(木)	10日(金)	20日(月)
令和6年6月	7日(金)	10日(月)	20日(木)
令和6年7月	9日(火)	10日(水)	22日(月)
令和6年8月	9日(金)	10日(土) *開所	20日(火)
令和6年9月	9日(月)	10日(火)	20日(金)
令和6年10月	9日(水)	10日(木)	21日(月)
令和6年11月	8日(金)	10日(日) *開所	20日(水)
令和6年12月	9日(月)	10日(火)	20日(金)
令和7年1月	9日(木)	10日(金)	20日(月)
令和7年2月	7日(金)	10日(月)	20日(木)
令和7年3月	7日(金)	10日(月)	21日(金)

※ レセプトの受付締切は、10日(必着)です。(請求省令により毎月10日までと定められています)

※ 受付窓口は、午前9時から午後5時までです。

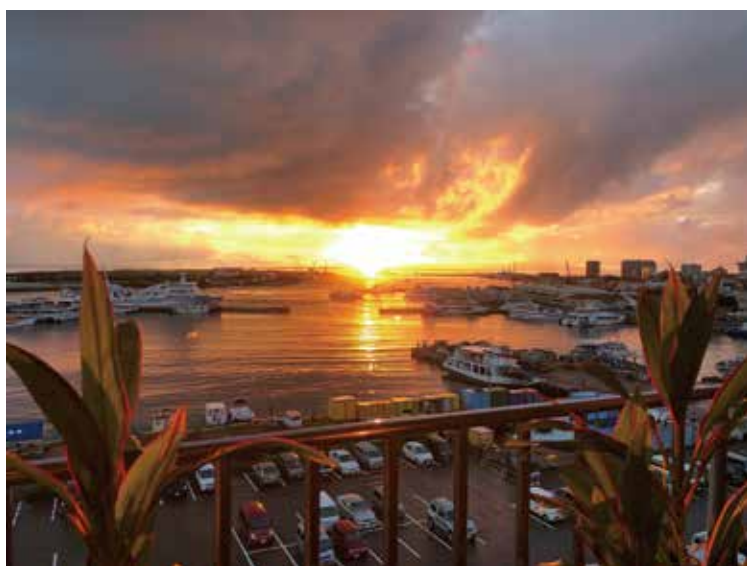
※ 12月は早期提出に御協力をお願いします。

※ 令和6年6月8日(土)、6月9日(日)、11月9日(土)、  
令和7年2月8日(土)、2月9日(日)、3月8日(土)、3月9日(日)は、  
閉所となりますのでご注意ください。

郵便等により送付される場合は、  
安全確実な方法にて毎月1日~10日  
必着をお願いします。

お問合せ先  
沖縄県国民健康保険団体連合会  
TEL 098-863-2473 (審査課)





西表島に沈む夕日  
(写真 砂川和徳先生)